

# ZOOM RhythmTrak RT-123



オペレーションマニュアル





# 安全上のご注意 / 使用上のご注意

## 安全上のご注意

この取扱説明書では、誤った取り扱いによる事故を未然に防ぐための注意事項を、マークを付けて表示しています。マークの意味は次の通りです。



### 警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



### 注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が傷害を負う可能性、または物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

本製品を安全にご使用いただくために、つぎの事項にご注意ください。



### 電源について

警告 RT-123の電源には付属のACアダプターを使用します。これ以外のACアダプターでご使用になりますと、故障や誤動作あるいは火災などの原因となり危険です。

AC100Vと異なる電源電圧の地域(たとえば国外)で、RT-123をご使用になる場合は、必ずZOOM製品取り扱い店に相談して適切なACアダプターをご使用ください。

長時間ご使用にならない場合は、ACアダプターをACコンセントから抜いておくようにしてください。



### 使用環境について

注意 RT-123をつぎのような場所でご使用になりますと、故障の原因となりますのでお避けてください。

温度が極端に高くなる場所や低くなる場所  
湿度が極端に高いところ  
砂やほこりの多いところ  
振動の多いところ



### 取り扱いについて

注意 RT-123は精密機器ですので、スイッチ類には無理な力を加えないようにしてください。必要以上に力を加えたり、落としたりぶつけるなどの衝撃は故障の原因となります。



### 接続ケーブルと入出力ジャックについて

注意 ケーブルを接続する際は、各機器の電源スイッチを必ずオフしてから行ってください。本製品を移動するときは、必ずすべての接続ケーブルとACアダプターを抜いてから行ってください。



### 改造について

注意 ケースを開けたり、改造を加えることは、故障の原因となりますので絶対におやめください。改造が原因で故障が発生しても当社では責任を負い兼ねますのでご了承ください。

## 使用上のご注意

### 他の電気機器への影響について

RT-123は、安全性を考慮して本体からの電波放出および外部からの電波干渉を極力抑えております。しかし、電波干渉を非常に受けやすい機器や極端に強い電波を放出する機器の周囲に設置すると影響が出る場合があります。そのような場合は、RT-123と影響する機器とを十分に距離を置いて設置してください。

デジタル制御の電子機器では、RT-123も含めて、電波障害による誤動作やデータの破損、消失など思わぬ事故が発生しかねません。ご注意ください。

### お手入れについて

パネルが汚れたときは、柔らかい布で乾拭きしてください。それでも汚れが落ちない場合は、湿らせた布をよくしぼって拭いてください。

クレンジャー、ワックスおよびアルコール、ベンジン、シンナーなどの溶剤は絶対に使用しないでください。

### 故障について

故障したり異常が発生した場合は、すぐにACアダプターを抜いて電源を切り、他の接続ケーブル類もはずしてください。「製品の型番」「製造番号」「故障、異常の具体的な症状」お客様のお名前、ご住所、お電話番号」をお買い上げの販売店またはズームサービスまでご連絡ください。

### 保証書の手続きとサービスについて

RT-123の保証期間は、お買い上げいただいた日から1年間です。ご購入された販売店で必ず保証書の手続きを行なってください。万一保証期間内に、製造上の不備による故障が生じた場合は、無償で修理いたしますのでお買い上げの販売店に保証書を提示して修理をご依頼ください。ただし、つぎの場合の修理は有償となります。

1. 保証書のご提示がない場合。
2. 保証書にご購入の年月日、販売店名の記述がない場合。
3. お客様の取り扱いが不適当なため生じた故障の場合。
4. 当社指定業者以外での修理、改造された部分の処理が不適当であった場合。
5. 故障の原因が本製品以外の、他の機器にある場合。
6. お買い上げ後に製品を落としたり、ぶつけるなど、過度の衝撃による故障の場合。
7. 火災、公害、ガス、異常電圧、および天災(地震、落雷、津波など)によって生じた故障の場合。
8. 消耗品(電池など)を交換する場合。
9. 日本国外でご使用になる場合。

保証期間が切れますと修理は有償となりますが、引き続き責任を持って製品の修理を行ないます。

このマニュアルは将来必要となることがありますので、必ず参照しやすいところに保管してください。

# 目次

安全上のご注意 / 使用上のご注意	3	ソングを作ろう	
はじめに	5	(ソングモード)	35
各部の名称	6	ソングとは?	35
フロントパネル	6	ソングの記録と再生	36
リアパネル	6	ソングの編集	39
接続しましょう	7	ソングの消去	40
演奏前の準備	7	パッドを使ってパターンを鳴らそう	
クイックガイド	8	(グループプレイ)	41
クイックガイド		ファンクションキーの設定	43
デモ曲を聴いてみよう	8	ファンクションキーの基本操作	43
クイックガイド		ファンクションキーの各項目	45
パッドを叩いて音を鳴らしてみよう	10	RT-123の応用例	51
クイックガイド		FS01でRT-123を	
パターンを鳴らそう	12	コントロールする	51
クイックガイド		MIDI機器と同期演奏させる	52
グループプレイを楽しもう	14	MIDI機器からRT-123の	
パッドで演奏してみよう		音を鳴らす	53
(マニュアル演奏)	16	RT-123を工場出荷時の状態に戻す	
パッドを叩いて演奏する	16	(イニシャライズ)	54
マニュアル演奏するキット / プログラム		デモ演奏を聴くには	55
を選ぶ	17	ユーザーパターンをすべて消去する	55
パターンを演奏してみよう		故障かな?と思われる前に	56
(パターンモード)	18	製品仕様	57
パターンを再生する	18	資料	
パターン演奏のテンポを変える	19	MIDIプログラムチェンジ対応表	
パターンを録音してみよう		ドラム、ベースキット一覧	
(リアルタイム録音)	20	プリセットパターンリスト	
ドラムトラックのリアルタイム録音	20	MIDIノートナンバー対応表	
ベーストラックのリアルタイム録音	24	ドラムキットEXTRAリスト	
パターンのステップ録音	28	MIDIインプリメンテーション	
ステップ録音とは	28	MIDIインプリメンテーションチャート	
ドラムトラックのステップ録音	29		
ベーストラックのステップ録音	31		
パターンのコピー / 消去	33		
パターンのコピー	33		
パターンの消去	34		

本マニュアルの著作権は株式会社ズームが所有しています。株式会社ズームの文書による同意がない限り、本マニュアルの一部または全部を無断転載、無断複写することは禁じられています。

# はじめに

このたびは、*RhythmTrak RT-123*(以下*RT-123*と呼びます)をお買上げいただきましてありがとうございます。

*RT-123*は、以下のような特長を備えたリズムマシンです。

コンパクトなボディに*RhythmTrak*・・・234の基本機能を凝縮。ドラムトラック×2とベーストラック×1から構成されるバックিং(パターン)演奏が楽しめます。あらかじめ代表的なリズムがプログラムされた297のプリセットパターンと、お客様ご自身のパターンを書き込める99のユーザーパターンが利用できます。

最大99のパターンを並べて1曲分のバックিং演奏(ソング)を作成できます。ソングは最大99曲まで作れます。

発音するときに光で知らせる自照式のパッドを採用。パターンやソングの再生中に、リズムを視覚的に確認できます。

105種類の実感的なドラム/ベース音色を搭載。バンドで演奏するような感覚でパート練習やライブ演奏が楽しめます。ギタリストやキーボードプレイヤーのデモテープ制作にも最適です。

外部の楽器を入力するLINE IN端子を装備。ZOOM503などのマルチエフェクターを通した楽器音とバックিং演奏をミックスし、*RT-123*の出力端子から出力できます。

シンプルな操作を徹底追求。ドラムマシンやシーケンサーを使った経験のない方でも、簡単にお使いいただけます。

パネル上のパッドを叩いてパターンを切り替えながら演奏できるグループプレイモードを搭載。ライブ演奏やDJプレイにも活用できます。

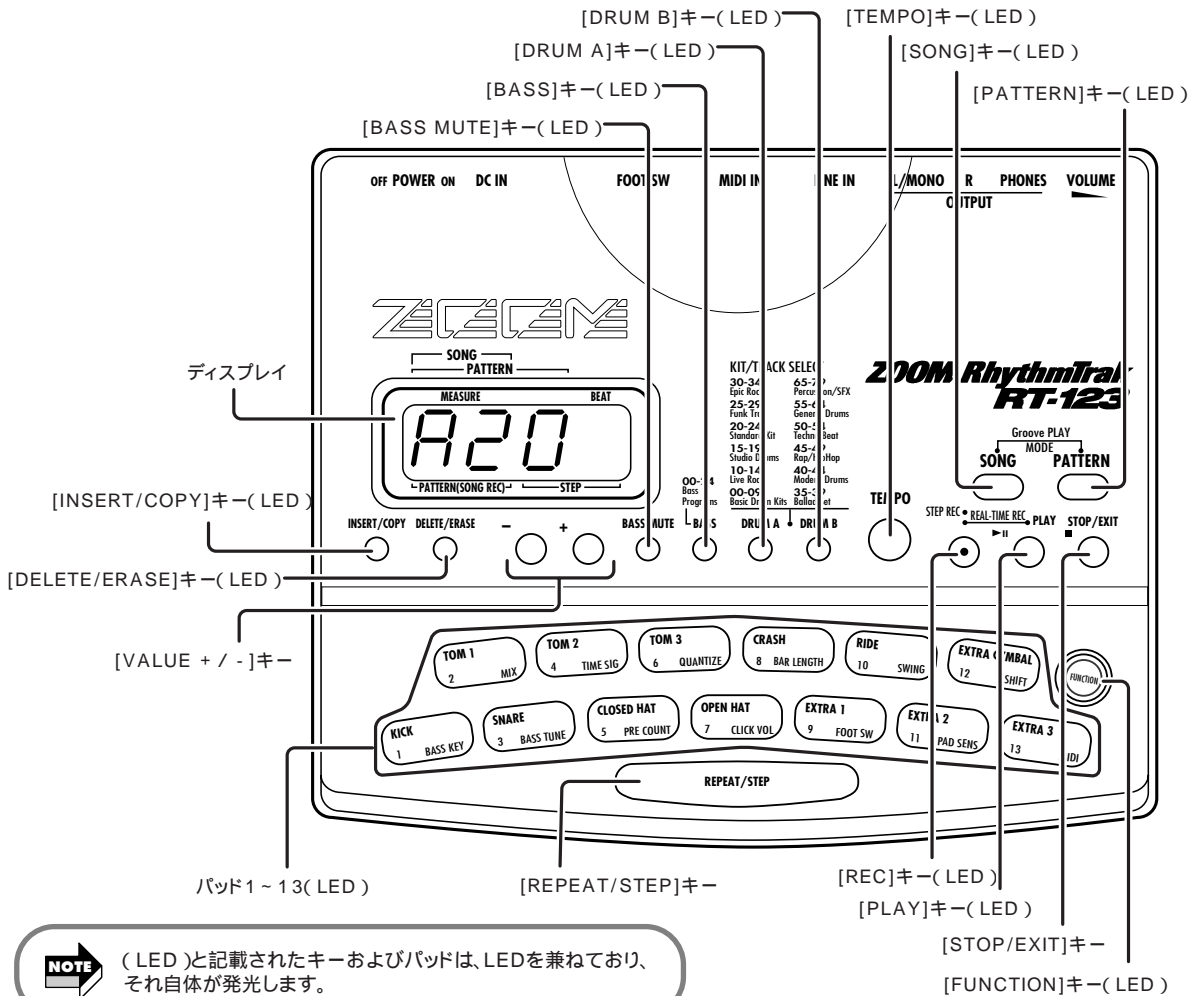
オプションのフットスイッチFS01を接続することで、パターンのスタート/ストップやテンポ変更を足元でコントロールできます。また、バスドラムの音色を足元で鳴らしたり、オープンハイハットとクローズハイハットの音色を足元で切り替えることも可能です。

MIDI IN端子を装備。外部MIDIシーケンサーとの同期演奏や、外部MIDI機器から*RT-123*の音を鳴らすことが可能です。

*RT-123*の機能をフルにご活用いただくために、このマニュアルをよくお読みください。

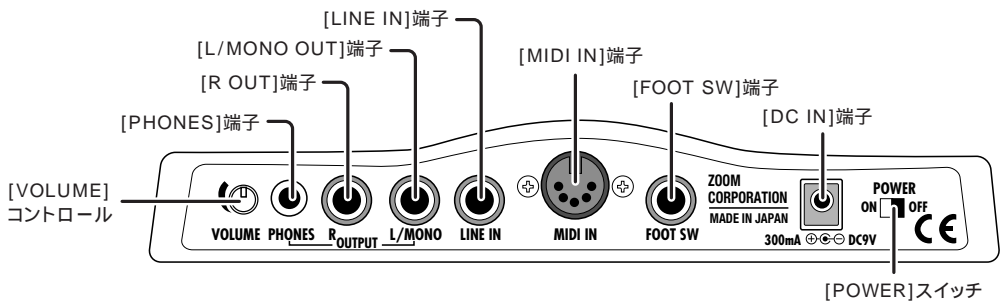
# 各部の名称

## フロントパネル



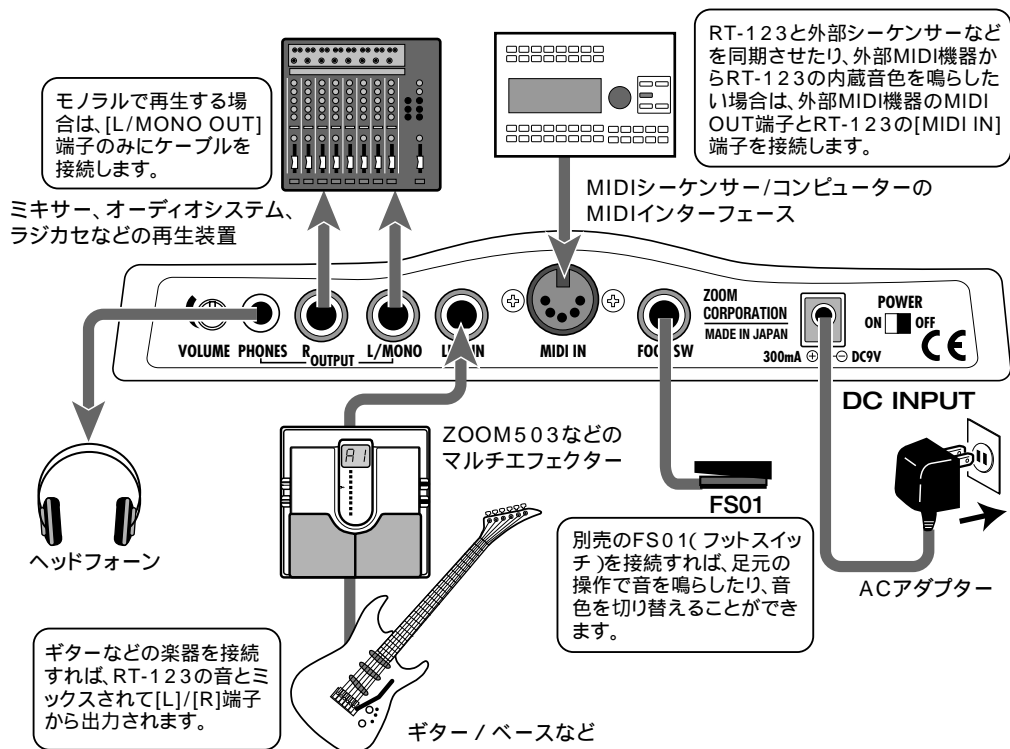
(LED)と記載されたキーおよびパッドは、LEDを兼ねており、それ自体が発光します。

## リアパネル



フロントパネル / リアパネルの操作子や端子類は「」で括って表記します。

## 接続しましょう



## 演奏前の準備

接続が済んだら、つぎの操作で音量を調節します。

- 操作 1** 再生装置の電源を切り、音量を完全にしぼった状態で、各機器が正しく接続されていることを確認してください。

電源が入ったまま接続を行ったり、音量が上がったまま電源を入れると、スピーカーを損傷することがありますのでご注意ください。

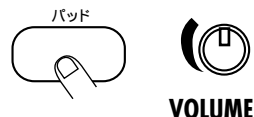
- 操作 2** RT-123の電源を入れてください。

[DC IN]端子に付属のACアダプターを接続して、[POWER]スイッチをオンにしてください。



- 操作 3** 再生装置の電源を入れてください。

パッドを叩いて音を出しながら、RT-123の[VOLUME]コントロールと再生装置の音量を適切な値に調節しましょう。



# クイックガイド

このクイックガイドでは、すぐに使ってみたいという方のために、RT-123の楽しみ方をいくつか紹介します。また、このマニュアルで使用するRT-123の用語についても説明しておきましょう。

## クイックガイド デモ曲を聴いてみよう

クイックガイド

RT-123には、内蔵音色を活かしたデモ曲が内蔵されています。まずは、このデモ曲を聴いてみましょう。

- 1 RT-123を再生装置に接続し、電源を入れる

- 2 [FUNCTION]キーを押す

[FUNCTION]キーのLEDが点滅していることを確認してください。

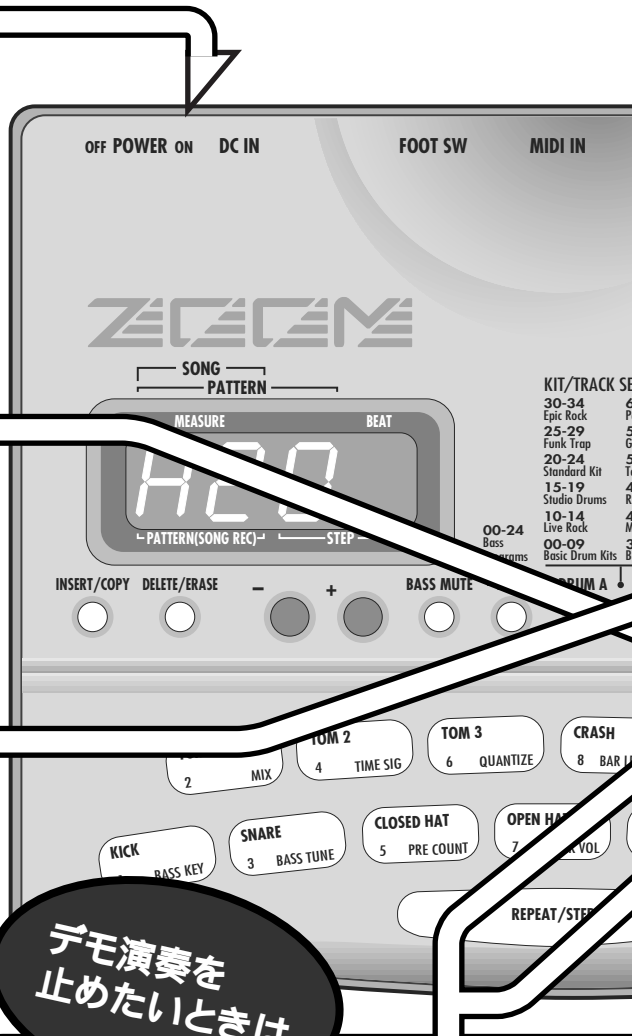
- 3 [SONG]キーを押す

このキーを押した瞬間に、デモ演奏が始まります。

まるで生のバンドを聴いているような、迫力あるバックング演奏ですね。さまざまなドラム音色、パーカッション音色、ベース音色が使われている点にも注目してください。このようにドラム、パーカッション、ベースによるリアルなバックング演奏を1台でこなすマシン、これがRT-123です。

デモ演奏を止めたいときは

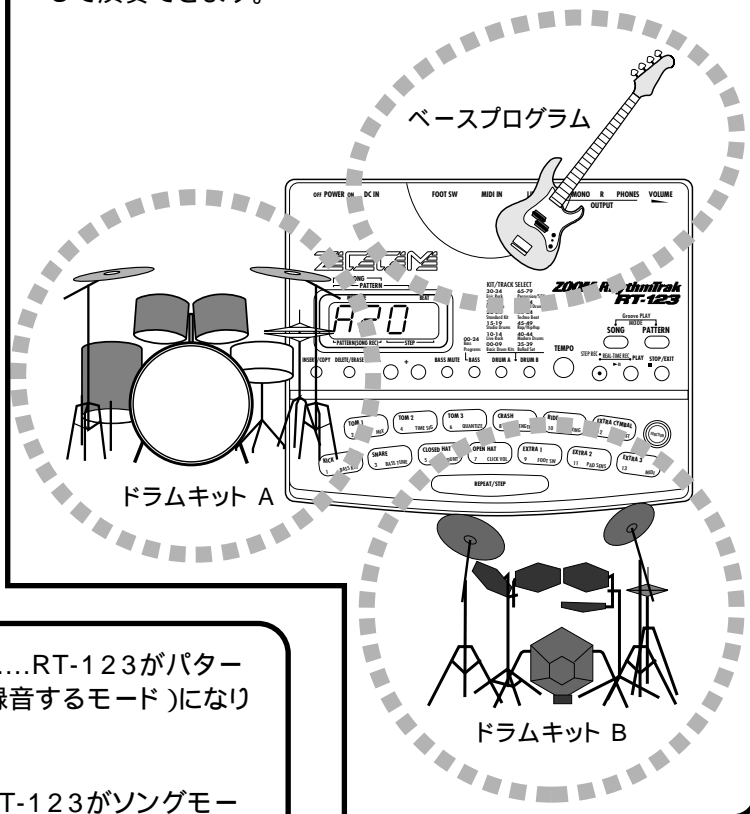
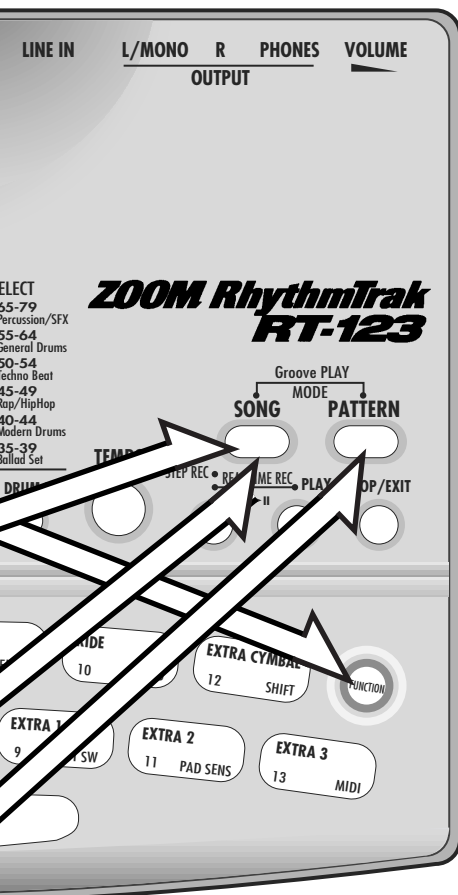
- 4 [PATTERN]キーまたは[SONG]キーを押す





## ドラムキットとベースプログラム について

RT-123のバックイング演奏は、最大2種類の“ドラムキット”と1種類の“ベースプログラム”から構成されています。ドラムキットとは、バスドラム、スネアドラム、タムなどのドラムセット、コンガ、ボンゴなどのパーカッション、効果音などの音色を音楽ジャンルや用途に応じて組み合わせたものです。RT-123には80種類のドラムキットが内蔵されており、2つのキットを同時に演奏できます。また、ベースプログラムとは、エレクトリックベース、アコースティックベース、シンセベースなどのベース音色のことで、25種類のベースプログラムのうちいずれか1つを選択して演奏できます。



[PATTERN]キーを押した場合.....RT-123がパターンモード(パターンを演奏したり録音するモード)になります。

[SONG]キーを押した場合.....RT-123がソングモード(パターンを並べて1曲分のバックイング演奏を作るモード)になります。

# クイックガイド

パッドを叩いて音を鳴らしてみよう

RT-123のフロントパネルにある13個のパッドを使って、ドラムキットやベースプログラムの音を鳴らしてみましょう。

## ① 電源を入れる

## ② [PATTERN]キーを押す

[PATTERN]キーのLEDが点灯し、RT-123がパターンモードとなります。

## ③ [DRUM A]キーを押す

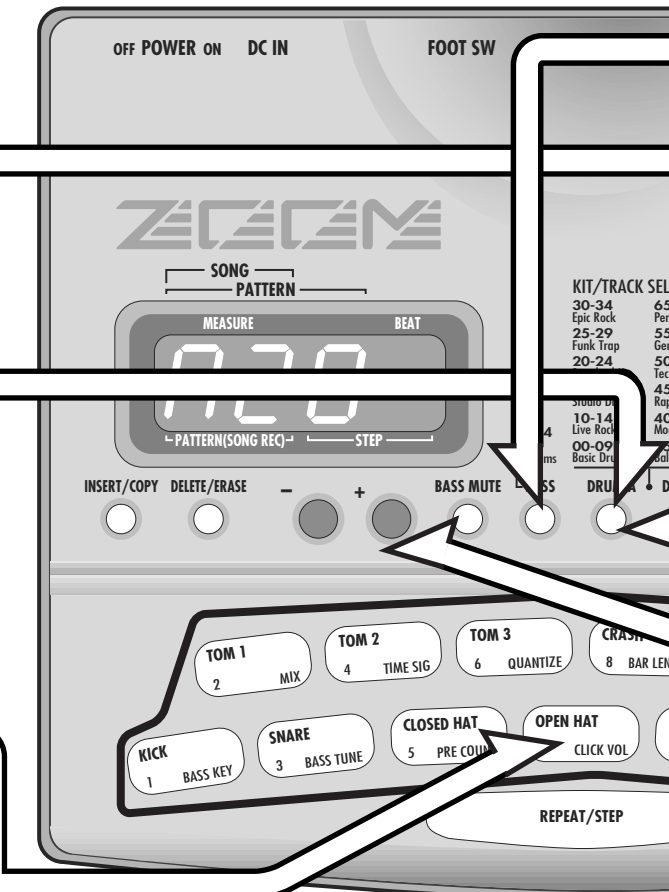
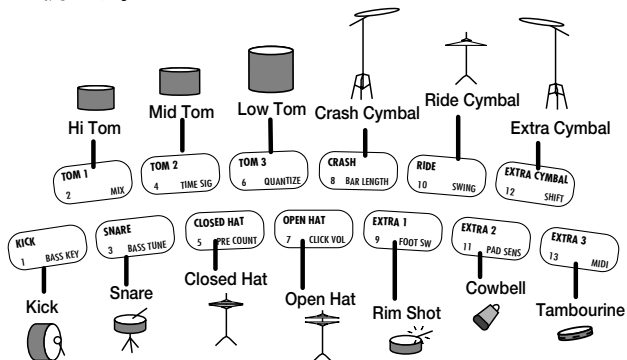
[DRUM A]のLEDが点灯します。これでパッドを使ってドラムキットを演奏できるようになります。



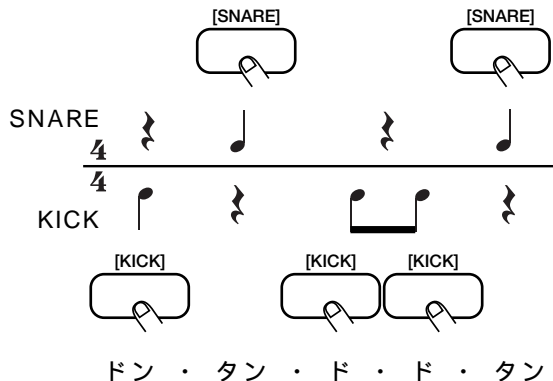
[DRUM B]キーを選んだ場合でも、同じようにドラムキットを演奏できます。

## ④ パッドを叩く

さあ、パッドを叩いてみましょう。パッドに応じて異なるドラム音色が聞こえるはずです。RT-123の13個のパッドには、現在選ばれているドラムキット/ベースプログラムに応じて、さまざまな音色が割り当てられています。例えば次の図は、ドラムキットを選んだときに、各パッドに割り当てられるドラム音色の例です。



試しにパッド1 ( KICK )とパッド3 ( SNARE )を次の図のように叩けば、バスドラムとスネアドラムによるリズムが演奏できます。



ベースプログラムを  
パッドで演奏したい  
ときは

## ⑥ [BASS]キーを押す

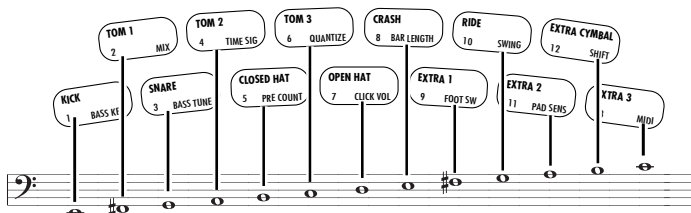
[BASS]キーのLEDが点灯し、ベースプログラムをパッドで演奏できるようになります。試しにパッドを叩いてみましょう。パッドごとに音高(ピッチ)の異なるベース音が聞こえるはずです。

ベースプログラムは、ドラムキットのように異なる音色の組み合わせではなく、同じベース音色の音高の異なる音をパッドに割り当てたもので、13個のパッドを鍵盤に見立てて演奏できます。

次の図は、ベースプログラムを選んだときにパッドごとに割り当てられた音高の例です。



**HINT** パッドごとの音高を変更することも可能です  
( P 24 )。



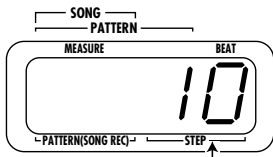
**NOTE**

音高の割り当ては、パターンによって異なります。

ドラムキットを  
変えたいときは

## ⑤ [DRUM A]キーを押しながら...

[DRUM A]キーを押している間、ディスプレイに現在選ばれているキット番号(0~79)が表示されます。

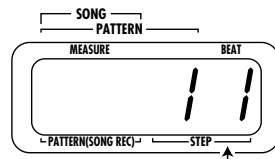


キット番号

## [VALUE + / -]キーのいずれか一方を押す

[+]キーを押した場合.....1つ上のキット番号が選ばれます。

[-]キーを押した場合.....1つ下のキット番号が選ばれます。



キット番号

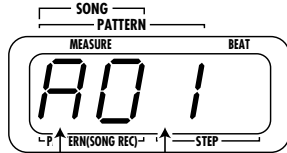
# クイックガイド パターンを鳴らそう

RT-123には、最大2種類のドラムキットとベースプログラムを使ったパターン(数小節単位のバックিং演奏)が内蔵されています。ここではパターンの演奏を聴いてみましょう。

## 1 電源を入れる

## 2 [PATTERN]キーを押す

[PATTERN]キーのLEDが点灯し、RT-123がパターンモードになります。ディスプレイには、現在選ばれているバンクとパターン番号が表示されます。



バンク パターン番号

次の4つのバンクごとに01～99のパターン番号があり、合計396のパターンが使用できます。

バンクA～C.....読み出し専用パターン(プリセットパターン)  
バンクU.....読み書き可能なパターン(ユーザーパターン)

工場出荷時には、ユーザーパターンは空の状態になっています。

## 3 [PLAY]キー(▶||)を押す

現在選ばれているパターンの演奏が開始されます。

RT-123のパターンは、2種類のドラムキットと1種類のベースプログラムを使った演奏を記録したものと考えられます。この演奏を記録する場所を“トラック”と呼びます。

RT-123のパターンにはドラムトラックA、ドラムトラックB、ベーストラックという3本のトラックがあり、ドラムトラックA/Bにはドラムキットの演奏が、ベーストラックにベースプログラムの演奏が記録されています。

### パターン

ドラムトラック A



ドラムトラック B



ベーストラック



パターンを変えたいときは

#### ④ [VALUE + / -]キーのいずれか一方を押す

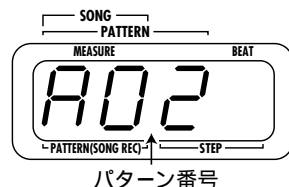
[+]キーを押した場合.....1つ上のパターン番号が選ばれます。

[-]キーを押した場合.....1つ下のパターン番号が選ばれます。

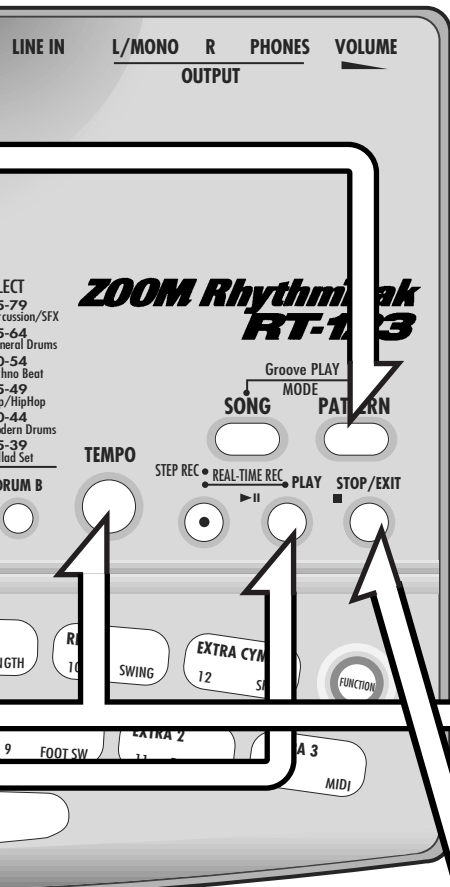
例えば[VALUE +]キーを繰り返し押した場合は、  
A01~A99 B01~B99 C01~C99 U01~U99の順でパターンが切り替わります。



[FUNCTION]キー  
[VALUE+ / -]キーの  
順で押すことで、A05  
B05 C05 U05の  
ようにバンクを切り替え  
ることも可能です。



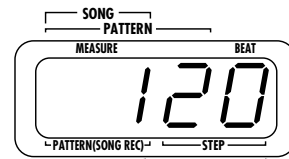
パターン番号



テンポを変えたいときは

#### ⑤ [TEMPO]キーを押しながら...

[TEMPO]キーを押している間、ディスプレイにテンポの値が表示されます。



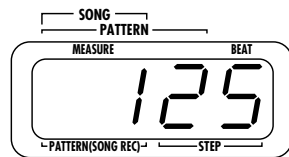
テンポの値(BPM)

#### [VALUE + / -]キーを押す

[+]キーを押した場合.....テンポの値が上がります。  
[-]キーを押した場合.....テンポの値が下がります。



希望するテンポに合わせて[TEMPO]キーを2回以上叩いてテンポを指定することも可能です( P 19 )。



ベース音を消したいときは

#### ⑥ [BASS MUTE]キーを押す

もう一度[BASS MUTE]キーを押すと、元の状態に戻ります。



その他、ベーストラック全体を移調することも可能です( P 24 )。

パターンの演奏を止めたいときは

#### ⑦ [STOP/EXIT]キー(■)を押す

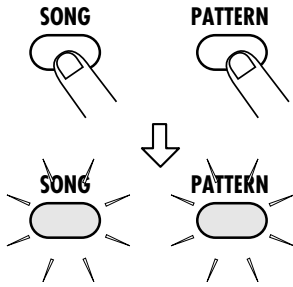
# クイックガイド グループプレイを楽しもう

“グループプレイ”とは、パッドを押すだけでさまざまなパターンを切り替えて演奏する、RT-123ならではの機能です。DJ気分ですさまざまなパターンをつなげて演奏してみましょう。

## ① 電源を入れる

## ② [SONG]キーと [PATTERN]キーを同時に押す

[SONG]キーのLEDと[PATTERN]キーのLEDが点灯し、RT-123がグループプレイモードとなります。

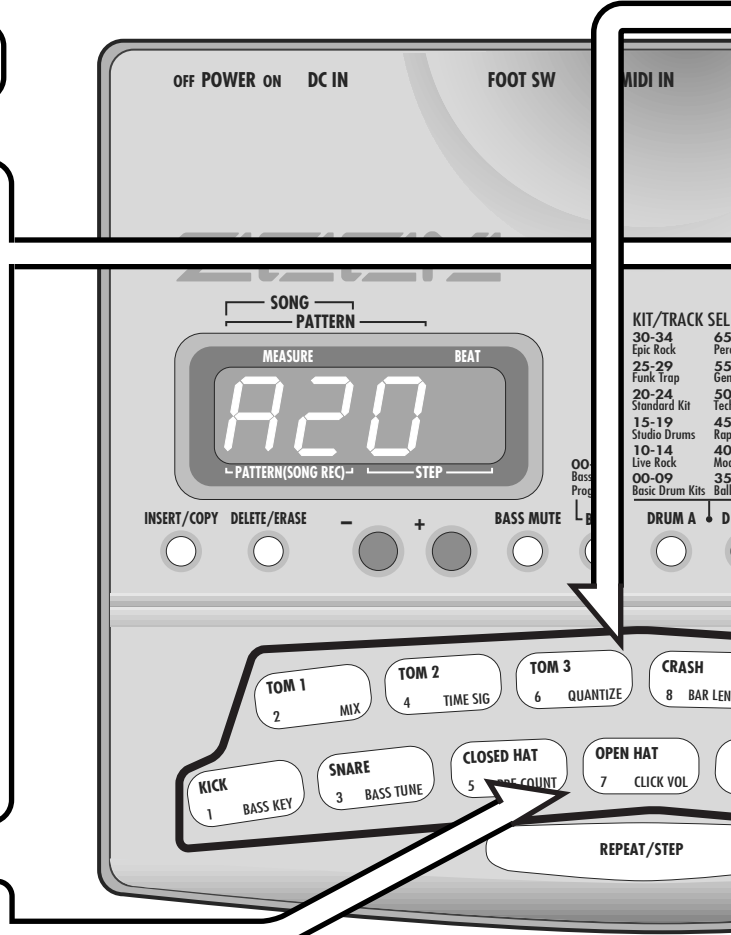


## ③ パッドを押す

パッドを押している間、そのパッドに割り当てられたパターンが演奏されます。各パッドにどんなパターンが割り当てられているのかを試してみましょう。



パッドに割り当てられたパターンは変更できます( P41 )。



複数のパターンを同時に鳴らしたいときは

### 5 複数のパッドを同時に押す

グループプレイでは、同時に4つまでのパターンを演奏できます。ベーシックなドラムパターンを鳴らしながら別のパッドを押さえ、ベースパターンやスネアのフィルインを重ねてみましょう。また、パッドを押すタイミングをずらせば、より複雑なリズムが作れます。

グループプレイを止めたいときは

### 6 [SONG]キーまたは[PATTERN]キーを押す

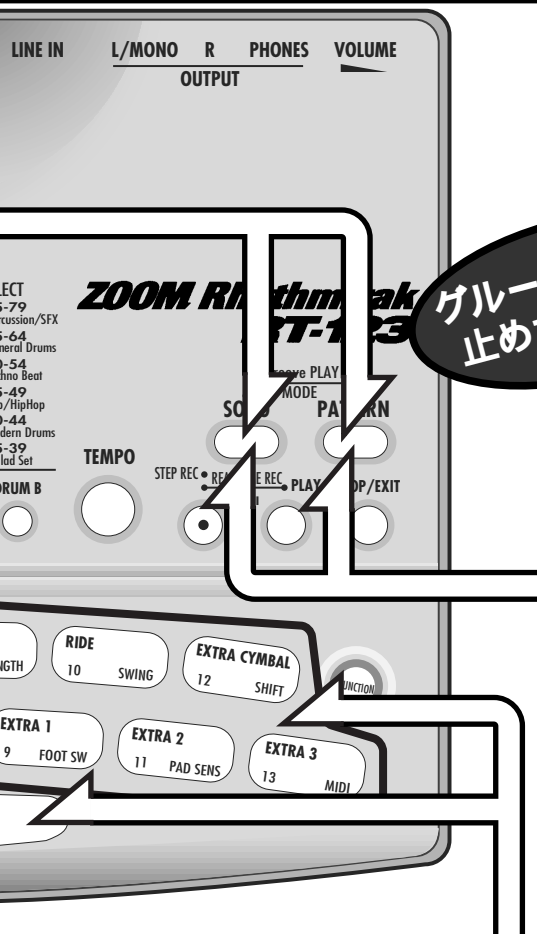
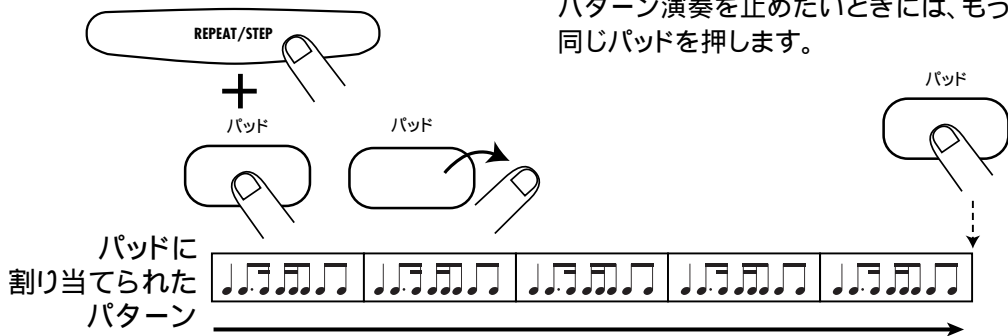
[PATTERN]キーを押した場合.....RT-123がパターンモードになります。

[SONG]キーを押した場合.....RT-123がソングモードになります。

パッドを離してもパターン演奏を続けたいときは

### 4 [REPEAT/STEP]キーを押しながらパッドを押す

こうすれば、パッドを離してもパターンはそのまま演奏を続けます。例えばベーシックなドラムパターンを常に鳴らしておきたいときに、便利なテクニックです。パターン演奏を止めたいときには、もう一度同じパッドを押します。

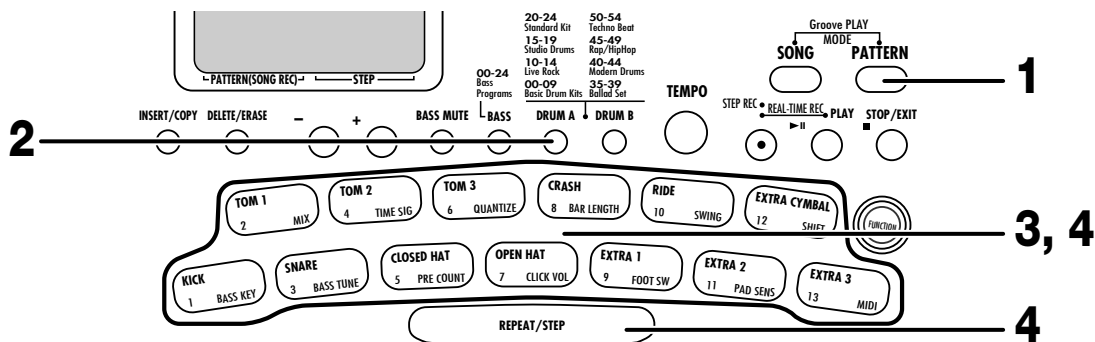


# パッドで演奏してみよう(マニュアル演奏)

RT-123は、単にパターンやソングを再生するだけでなく、パッドを叩いてマニュアル演奏を楽しむことができます。ここではマニュアル演奏の方法を説明します。

## パッドを叩いて演奏する

RT-123のパッドには、現在選ばれているドラムキットに応じて、それぞれ異なる音色が割り当てられています。パッドを叩いてRT-123のリアルな音色を楽しんでみましょう。



パッドで演奏してみよう(マニュアル演奏)

### 操作1 [PATTERN]キーを押してください。

[PATTERN]キーを押すと、RT-123がパターンモードとなります。このとき、[PATTERN]キーのLEDが点灯します。



### 操作2 [DRUM A]キーを押してください。

マニュアル演奏を行うときは、[DRUM A]キー、[DRUM B]キー、[BASS]キーを使って演奏するドラムキットまたはベースプログラムを選びます(選ばれたキーのLEDが点灯します)。[DRUM A]/[DRUM B]キーを押したときはそれぞれドラムキットA/B、[BASS]キーを押したときはベースプログラムが選ばれます。ここではドラムキットAを選んでみましょう。



### 操作3 お好きなパッドを叩いてください。

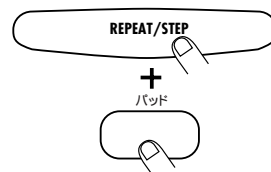
パッドを叩いた瞬間にそのパッドのLEDが短い時間点灯し、キット内でそのパッドに割り当てられた音色が鳴ります。また、パッドを叩く強弱に応じて音量が変化します。



操作2で[BASS]キーを押した場合はベースプログラムの音色を鳴らすことができます。なお、ドラムキットの場合はパッドをすぐ離しても音が最後まで鳴りますが、ベースプログラムの場合はパッドを押している間のみ音が鳴り続けます。

### 操作4 [REPEAT/STEP]キーを押しながらパッドを押さえてください。

パッドを押している間、そのパッドの音色で連打音が鳴ります。連打の速さはテンポに応じて変化します。

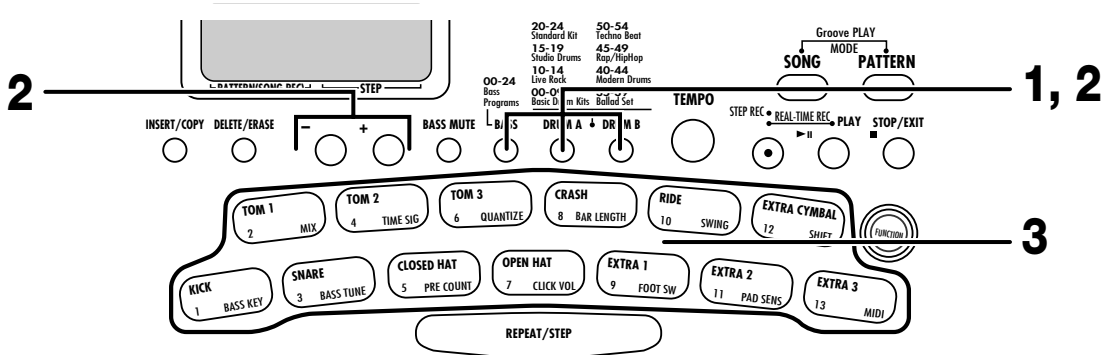


連打する間隔を調節することもできます。46ページ(QUANTIZEの項)をご参照ください。



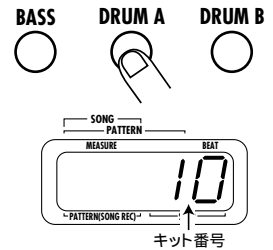
## マニュアル演奏するキット / プログラムを選ぶ

ドラムキット(80種類) ベースプログラム(25種類)の中から色々なキット / プログラムの音色を選び、マニュアル演奏で聞いてみましょう。



**操作 1** [DRUM A]キー、[DRUM B]キー、[BASS]キーの中から演奏したいトラックを選択し、そのキーを押し続けてください。

キーを押している間、ディスプレイに現在選択されているキット / プログラム番号が表示されます。

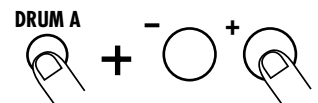


**HINT** 選択可能なドラムキットの種類は、パネル上の印刷で確認できます。

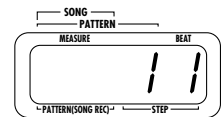
**NOTE** キット / プログラムを変更可能なのはユーザーパターンのみです。プリセットパターンのキット / プログラムは変更できません。

**操作 2** 操作 1 で選んだキーを押しながら、[VALUE + / -]キーでキット / プログラムを選んでください。

[VALUE + / -]キーは、現在選ばれている要素の設定値を1段階ずつ変更するためのキーです。この例では、[VALUE + / -]キーを押すごとに、ディスプレイに表示されるキット / プログラム番号が1つつ上下し、キット / プログラムが切り替わります。



- [VALUE + / -]キーのいずれか1つを押し続ければ、値を連続的に変化させることができます。
- また、[VALUE + / -]キーのいずれか一方を押さえた状態でもう一方を押せば、数値を素早く増減させることができます。



**操作 3** パッドを叩いて新しいキット / プログラムの音色を鳴らしてみましょう。

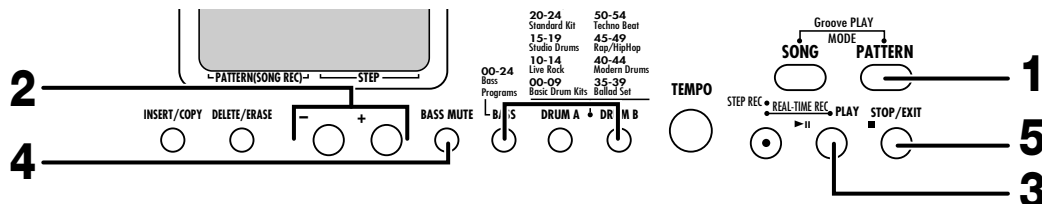


# パターンを演奏してみよう(パターンモード)

ここでは、RT-123のプリセットパターンや録音済みのユーザーパターンを再生する方法を説明します。

## パターンを再生する

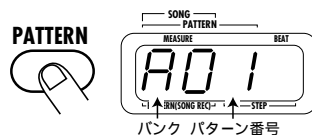
RT-123には、“プリセットパターン”と呼ばれる読み出し専用のパターンが297種類(A01～A99、B01～B99、C01～C99)と、読み書き可能な“ユーザーパターン”が99種類(U01～U99)用意されています(工場出荷時には、ユーザーパターンは空になっています)。ここでは、パターンを選んで演奏する方法を説明します。



パターンを演奏してみよう(パターンモード)

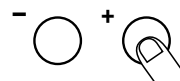
**操作1** [PATTERN]キーを押して[PATTERN]キーのLEDを点灯させてください。

RT-123がパターンモードとなり、ディスプレイに現在選ばれているパターンのバンクと番号が表示されます(A01～A99、B01～99、C01～99 = プリセットパターン、U01～U99 = ユーザーパターン)。また、空のユーザーパターンを選んだときは、ディスプレイの右端に“E (Empty)”と表示されます。



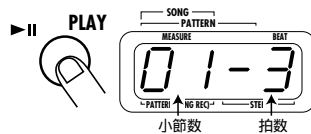
**操作2** [VALUE + / -]キーで再生したいパターン番号を選んでください。

パターンモードでは、[VALUE + / -]キーをパターンの選択に使用します。



**操作3** [PLAY]キーを押してください。

[PLAY]キーのLEDが点灯してパターンが繰り返し再生され、[TEMPO]キーのLEDがテンポに合わせて点滅します。また、ディスプレイでパターンの現在位置(小節数 / 拍数)を確認できます。



- ・ パターンの再生中にも、パッドを使ったマニュアル演奏が行えます。
- ・ 再生中にパターンのバンクや番号を切り替えることも可能です。この場合は、切り替えた瞬間から新しいパターンが始まります。

**操作4** ベーストラックのみをミュート(消音)したいときは、[BASS MUTE]キーを押してください。

[BASS MUTE]キーのLEDが点灯してベーストラックがミュートされます(ドラムトラックA / Bのみの演奏となります)。元に戻すには再度[BASS MUTE]キーを押してください。



- ・ ベーストラックをミュートしているときでも、ベースプログラムをパッドでマニュアル演奏することができます。これを行うには、[BASS]キーを押して[BASS]キーのLEDを点灯させてください。
- ・ ベーストラックのミュート操作は、パターンの停止中にも行えます。

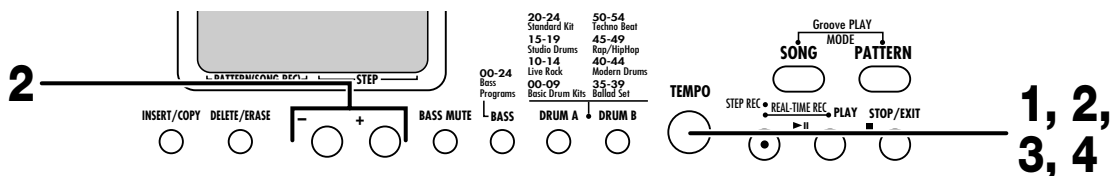
**操作5** パターンを停止したいときは、[STOP/EXIT]キーを押してください。

[STOP/EXIT]キーの代わりに[PLAY]キーを押すとポーズ(一時停止)状態となり、[PLAY]キーのLEDが点滅します。この状態からもう一度[PLAY]キーを押すと、止めた位置から再開します。



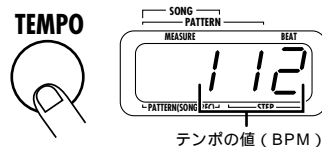
## パターン演奏のテンポを変える

パターンモードでパターンを演奏するときのテンポは、40～250BPM( BPM=テンポを1分間に演奏される4分音符の数で表した値 )の範囲で調節できます。



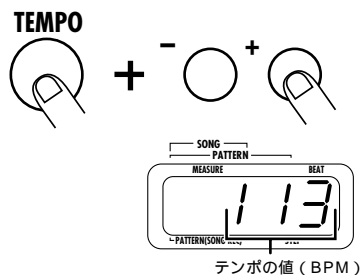
**操作 1** [TEMPO]キーを押してください。

約2秒間ディスプレイに現在のテンポが表示されます。



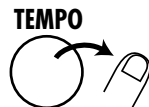
テンポの値 (BPM)

**操作 2** [TEMPO]キーを押したまま[VALUE + / -]キーを使ってテンポを調節してください。



テンポの値 (BPM)

**操作 3** テンポ設定ができれば、[TEMPO]キーから手を離してください。



**操作 4** マニュアル操作でテンポを指定したいときは、[TEMPO]キーを好きなテンポで2回叩いてください(タップテンポ機能)。

パターンの停止中または再生中に[TEMPO]キーを続けて2回叩けば、その間隔を4分音符としたテンポが設定されます。ある曲に合わせたパターンを作りたいときには、その曲に合わせて[TEMPO]キーを叩くだけで、簡単にテンポが設定できます。



パターンモードで設定したテンポは、すべてのパターンに共通です。パターンごとに変えることはできません。

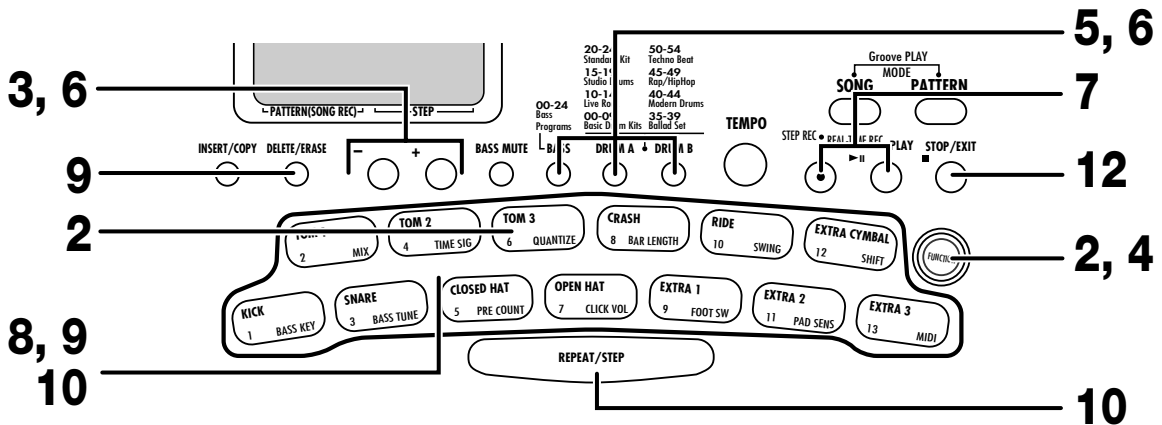
パターンを演奏してみよう(パターンモード)

# パターンを録音してみよう(リアルタイム録音)

RT-123には、自分自身のパターンを録音できるユーザーパターンが99種類用意されています。パターンを作る方法は、実際にパッドを叩いて演奏して録音する“リアルタイム録音”と、演奏を止めた状態で1音1音を入力していく“ステップ録音”の2つがあります。ここでは、ドラムトラックとベーストラックのリアルタイム録音を説明します。

## ドラムトラックのリアルタイム録音

“リアルタイム録音”とは、メトロノーム音を聞きながらパッドを叩いた演奏をそのまま録音していく方法です。まずドラムトラックにリアルタイム録音してみましょう。



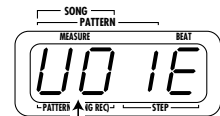
パターンを録音してみよう(リアルタイム録音)

**操作1** パターンモードで空のユーザーパターン(U01 ~ U99)を選び、必要に応じてドラムキットを選択してください。

何も録音されていないユーザーパターンが選ばれると、ディスプレイの右端に“E”と表示されます。



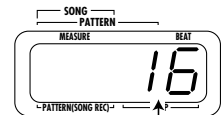
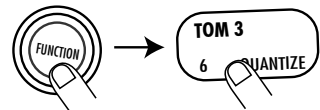
プリセットパターンには録音できません。



空のユーザーパターン

**操作2** [FUNCTION]キー パッド6(QUANTIZE)の順に押ししてください。

ディスプレイに、現在のクオンタイズの設定値が表示されます。“クオンタイズ”とは、どれだけ細かい音符で録音するかを決める要素です。クオンタイズを録音したいパターンの最小単位となる音符に合わせておけば、自動的に正確なタイミングで録音することができます。また、クオンタイズをオフの状態にして人間的なノリを残して録音することも可能です。



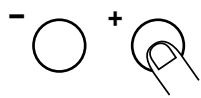
クオンタイズの設定値



[FUNCTION]キーはRT-123の各種設定を行うためのキーです。詳しい説明は、43ページをご参照ください。

**操作 3** [VALUE + / -]キーを使ってクオンタイズの値(録音する最小単位の音符)を次の中から選んでください。

4 .....	4分音符	24 .....	16分3連音符
8 .....	8分音符	32 .....	32分音符
12 .....	8分3連音符	48 .....	32分3連音符
16 .....	16分音符	Hi ...	クオンタイズなし



**操作 4** もう一度[FUNCTION]キーを押してください。

新規のクオンタイズの値が確定し、パターンモードに戻ります。

**HINT** 録音が終わった後でクオンタイズの値を変更し、同じトラックに再度録音することも可能です。例えばバスドラムとスネアドラムを4分音符単位で録音した後で、ハイハットを16分音符単位で録音することができます。



**操作 5** [DRUM A]、[DRUM B]、[BASS]キーの中から、録音したいトラックに該当するキーを押してください。

[DRUM A]、[DRUM B]、[BASS]の各キーは、それぞれドラムトラックA、ドラムトラックB、ベーストラックを選択するのに使います。ここでは[DRUM A]キーを押してドラムトラックAを選んでみましょう。この状態でパッドを叩けば、現在ドラムトラックAに割り当てられているドラムキットの音色を確認できます。

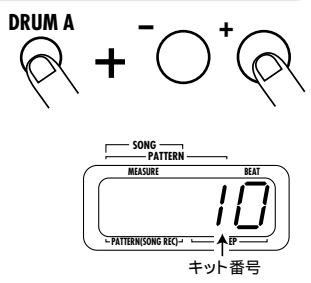


**操作 6** 操作5で選んだキーを押したまま、[VALUE + / -]キーを使ってキット番号を選択してください。

トラックに割り当てられたキット/プログラムは自由に変更できます。[DRUM A]キーを押している間、ディスプレイに現在選ばれているキット番号が表示されますので、[VALUE + / -]キーを使ってキット番号を変更してください。

**HINT**

- [VALUE + / -]キーのいずれか1つを押し続ければ、値を連続的に変化させることができます。
- また、[VALUE + / -]キーのいずれか一方を押さえた状態でもう一方を押せば、数値を素早く増減させることができます。
- トラックごとのキット/プログラムは、パターンの録音後に変更することもできます。また、パターンの再生中に切り替えることも可能です。
- ユーザーパターンのキット/プログラムを変更すると、自動的に新しいキット/プログラムがそのパターンに保存されます。

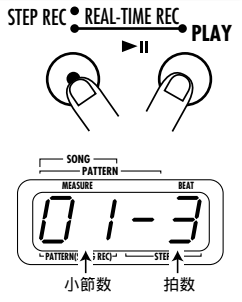


**NOTE** プリセットパターンのキット/プログラムは変更できません。

**操作 7** [REC]キーを押しながら[PLAY]キーを押してください。

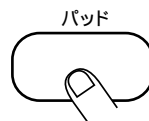
[REC]キーと[PLAY]キーのLEDが点灯します。また、テンポに合わせて[TEMPO]キーのLEDが点滅し、「カッ・カッ・カッ・カッ」とメトロノーム音が鳴り始めます。

**HINT** 特に指定しない限り、何も録音されていない空のパターンの拍子は4/4、長さは2小節となります。パターンの拍子や小節数を変更することも可能です(46~47ページをご参照ください)。



**操作 8** メトロノームに合わせてパッドを叩いてください。

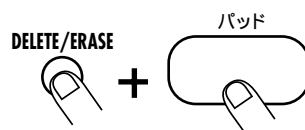
叩いたパッドの音色が鳴り、クオンタイズの値に従って演奏が録音されます。パターンの現在位置はディスプレイで確認できます。パターンの最後まで到達すると先頭に戻って録音を続けますので、何度でも追加録音が行えます。



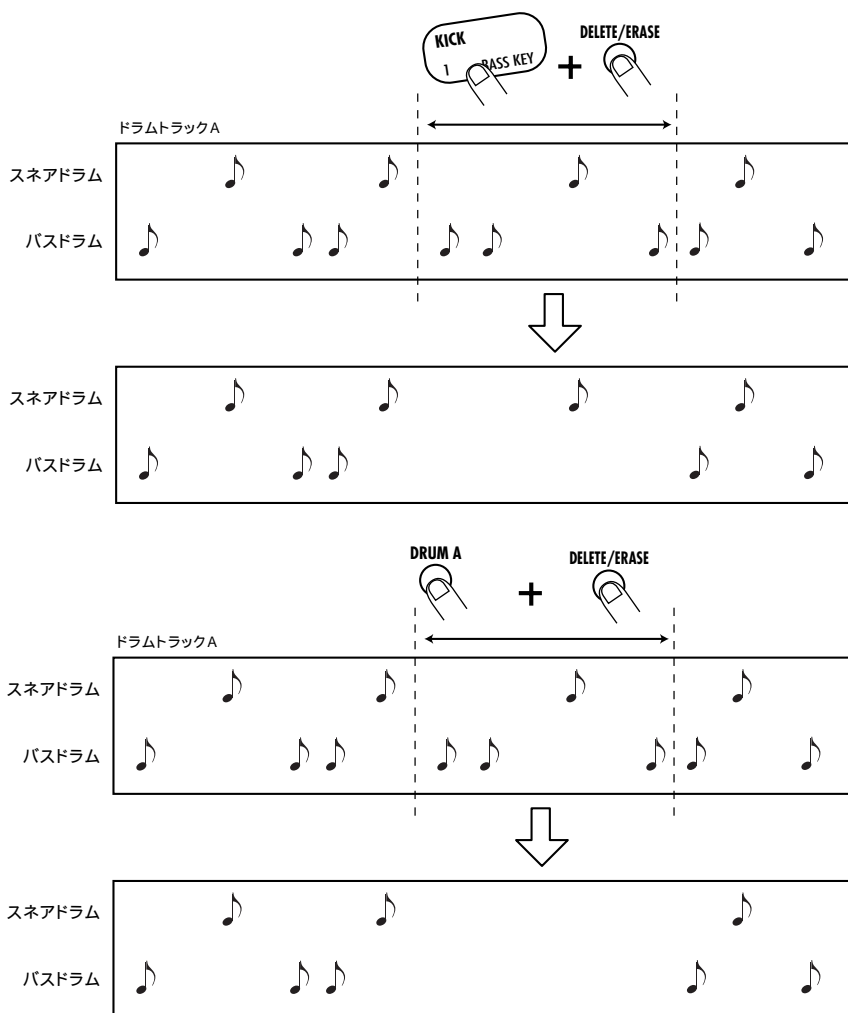
リアルタイム録音中に[REC]キーを押すと、[REC]キーのLEDが点滅に変わり、パターンの録音が一時的に解除されます。この状態でパッドを叩いても音は鳴りますが何も録音されませんので、フレーズや音色の確認に便利です。録音状態に戻すには、もう一度[REC]キーを押します。

**操作 9** 特定のパッドの演奏を消したい場合は、[DELETE/ERASE]キーを押しながらそのパッドを押さえてください。

[DELETE/ERASE]キーとパッドを押さえている間のみ、そのパッドの音がパターンから消去されます。トラック全体の演奏を消したい場合は、[DELETE/ERASE]キーを押しながら、[DRUM A]、[DRUM B]、[BASS]キーのうち1つを押してください。両方のキーを押さえている間のみ、そのトラックのすべての音色が消去されます。

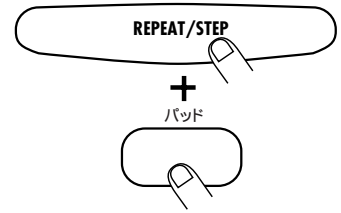


パターンを録音してみよう(リアルタイム録音)



**操作10** [REPEAT/STEP]キーを押しながら、パッドを押さえてみましょう。

録音中に[REPEAT/STEP]キーを押しながらパッドを押すと、連打音を録音できます。



**操作11** 同じ要領でドラムトラックBを選び、録音してみましょう。

**操作12** 録音が終了したら[STOP/EXIT]キーを押してください。

録音が停止します。

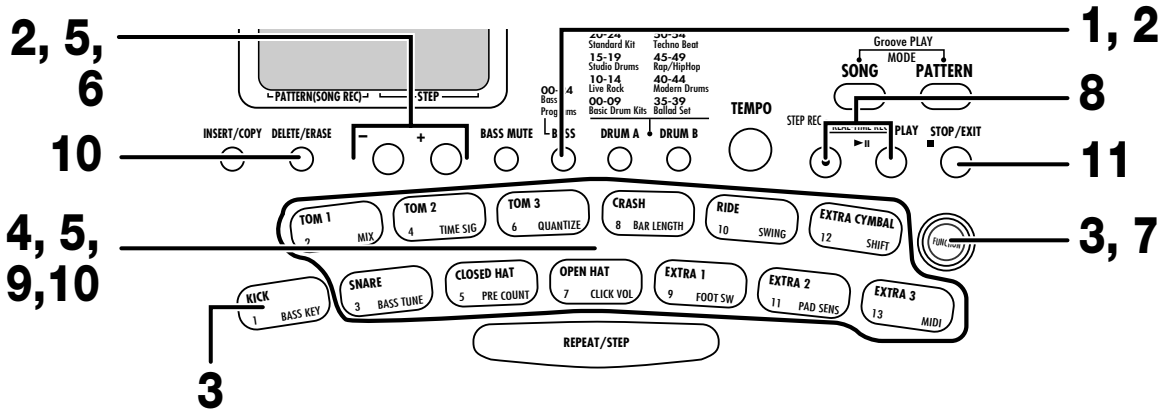


- ・ MIDIクロックの受信がオンになっているときは、リアルタイム録音できません。詳しくは52ページをご参照ください。
- ・ 外部MIDI機器から録音することはできません。



## ベーストラックのリアルタイム録音

「ドラムトラックのリアルタイム録音」でドラムを録音したパターンにベースを重ねてみましょう。



**操作1** [BASS]キーを押し、そのまま押し続けてください。

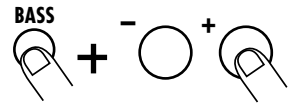
録音するトラックとして、ベーストラックが選択されます。

BASS



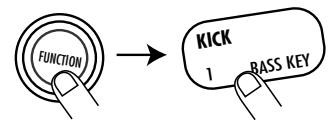
**操作2** [BASS]キーを押したまま、[VALUE + / -]キーで使用するベースプログラムを選んでください。

**HINT** ベースプログラムは録音中にも変更できます。



**操作3** [FUNCTION]キー パッド1(BASS KEY)の順に押してください。

ベーストラックに録音するときは、最初にそのベースパターンで使用する音高を各パッドに割り当てておきます。[FUNCTION]キー パッド1 (BASS KEY)を順に押すことで、各パッドに割り当てられたベースの音高を設定可能となります。このとき、[FUNCTION]キーのLEDが点灯し、ディスプレイにはパッド1に割り当てられた音名が表示されます。



**HINT** パターンを消去した場合でも、以前のパターンで各パッドに割り当てられていた音高は記憶されています。この割り当てをそのまま利用する場合は、操作3～5は不要です。

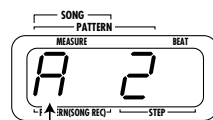
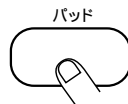




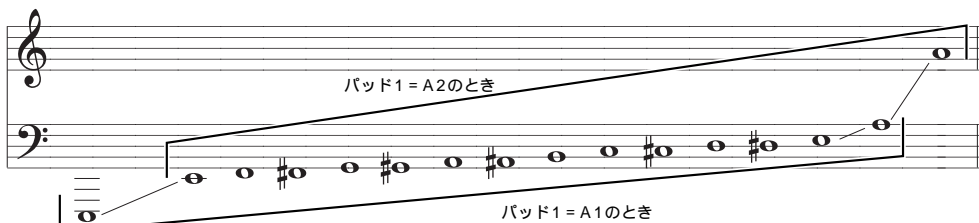
## 操作 4 パッド2～13のうち、音高を変えたいパッドを押してください。

パッドを押さえている間、そのパッドに割り当てられた音名(E1～A4)がディスプレイに表示されます。

**NOTE** パッド2～13から手を離すと、再度パッド1に割り当てられた音名が表示されます。この音名は、パッド全体のピッチを半音単位で上下(移調)させるときの基準音となりますので、誤ってこの音名まで変更しないようにご注意ください。



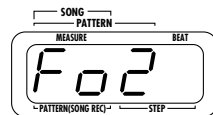
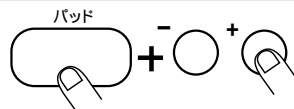
現在押されているパッドに割り当てられた音名



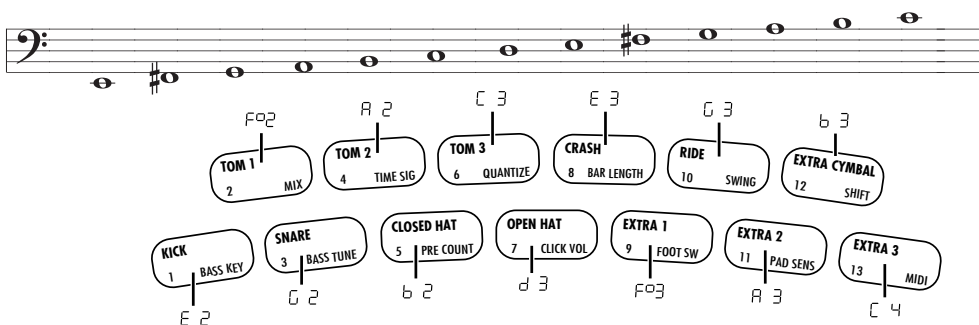
E 1... E 2 F 2 F#2 G 2 G#2 A 2 A#2 b 2 C 3 C#3 d 3 d#3 E 3... A 3... A 4  
E 1... E 2 F 2 F 2 G 2 G 2 A 2 A 2 B 2 C 3 C 3 D 3 D 3 E 3... A 3... A 4

## 操作 5 パッドを押したまま、[VALUE + / -]キーを使ってそのパッドに割り当てられた音名を変更してください。

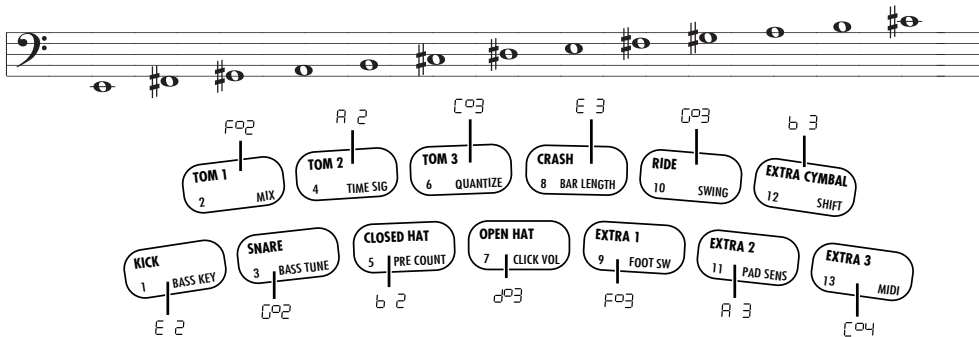
次の図は、各パッドにE minor(イマイナー)のスケールとE Major(イメジャー)のスケールを割り当てた場合の例です。音名の割り当て方法は他にもさまざまな例が考えられます。録音したいベースパターンに応じて割り当て方法を工夫してみましょう。



E minorのスケールを割り当てた例



E Majorのスケールを割り当てた例



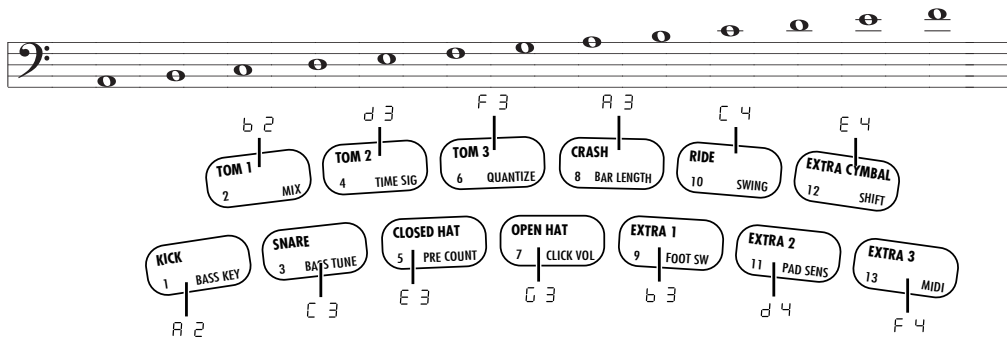
**操作 6** パッド全体の音高を移調したいときは、パッドから手を放した状態で、[VALUE + / -]キーを使ってパッド1に割り当てられた音高を変更してください。

パッド1の音高を変更すると、それに伴ってパッド2～13の音高も半音単位で上下します。例えば前ページのようにE minorのスケールを割り当てた後で、パッド1の音名を“E 2”から“A 2”に変更すると、各パッドにA minor(エーマイナー)のスケールが割り当てられます。



**HINT** この操作でベーストラックの移調が行えますので、コード進行に応じたベースラインを作成する際に便利です。

A minorのスケールを割り当てた例



**操作 7** 音高の割り当てが終わったら、[FUNCTION]キーをもう一度押してください。

[FUNCTION]キーのLEDが消灯します。



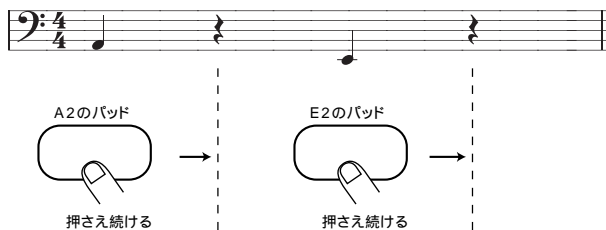
**操作 8** [REC]キーを押したまま[PLAY]キーを押してください。

[REC]キーと[PLAY]キーのLEDが点灯、同時に[TEMPO]キーのLEDが点滅し、すでに録音されたドラムトラックが繰り返し再生されます。



**操作 9** メトロノーム音に合わせて、録音したいフレーズの音高に相当するパッドを押してください。

ドラムトラックとは異なり、ベーストラックにはパッドを押さえている長さも録音されます。例えば次の譜例を録音するには、A2の音高が割り当てられたパッドと、E2の音高が割り当てられたパッドをそれぞれ4分音符の長さだけ押さえます。



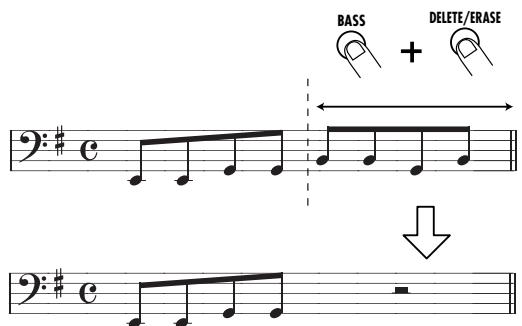
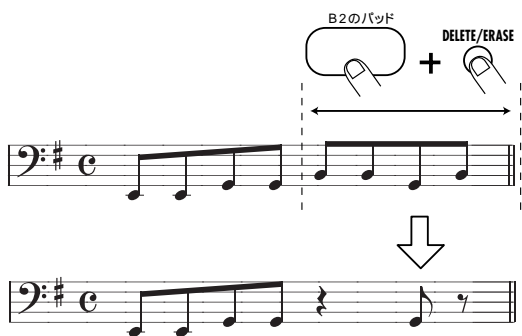
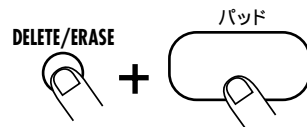


リアルタイム録音状態で[REC]キーを押すと、LEDが点滅に変わり、パターンの録音が一時的に解除されます。パッドを叩いても音は鳴りませんが何も録音されませんので、フレーズや音色の確認ができます。

### 操作 10

特定の音のみ演奏を消したい場合は、[DELETE/ERASE]キーを押しながらその音高に相当するパッドを押さえてください。

[DELETE/ERASE]キーとパッドを押さえている間のみ、そのパッドの音高に相当する音がパターンから消去されます。また、ベーストラック全体の演奏を消したいときは、[DELETE/ERASE]キーを押しながら[BASS]キーを押してください。両方のキーを押さえている間のみ、ベーストラックの演奏が消去されます。



### 操作 11

録音が終了したら[STOP/EXIT]キーを押してください。



パターンを録音してみよう(リアルタイム録音)

# パターンのステップ録音

ここでは、RT-123のもう1つの録音方法として、ステップ録音の方法を説明します。

## ステップ録音とは

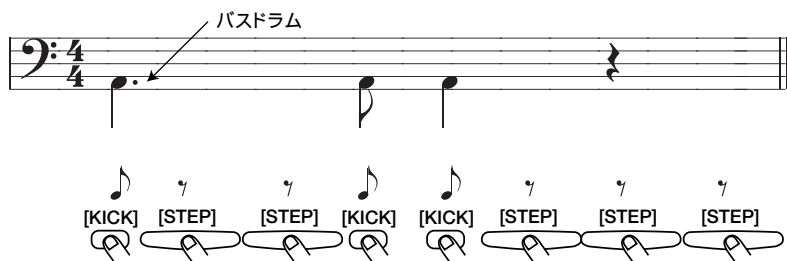
ステップ録音とは、RT-123を停止させた状態で1音1音を入力していく録音方法です。パッドを叩くのが苦手という方でも、ステップ録音を使えば複雑なドラムパターンやベースパターンが簡単に入力できます。また、人間ではとても演奏できないようなパターンの作成も可能です。

ドラムトラックのステップ録音では、最小単位となる音符を選び、1ステップごとにパッド(音符)または[REPEAT/STEP]キー(休符)を押すことで、パターンを作っていきます。

例えば次のようなパターンのバスドラムをステップ録音する場合は、最小単位として8分音符を選び、

[KICK] [STEP] [STEP] [KICK] [KICK] [STEP] [STEP] [STEP]

という順番で入力します。

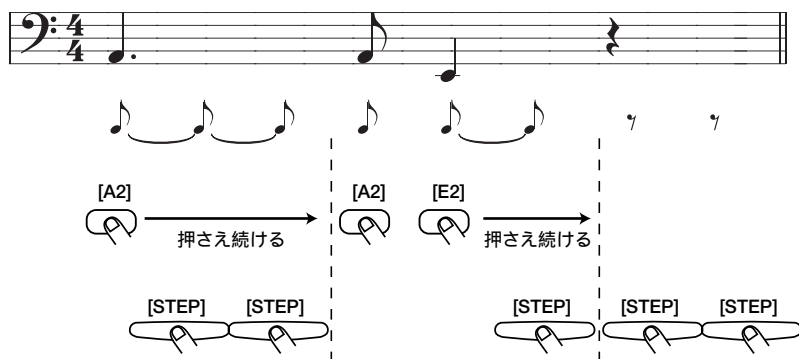


パターンの最後まで進んだら自動的に先頭に戻りますので、同じようにスネア、ハイハットと個別に入力していき、1つのパターンを完成させます。また、同時に2つのパッドを叩くことで2つの音色を同じ位置に入力することも可能です。

ベーストラックのステップ録音ではドラムトラックにはなかった“音高”と“音の長さ”という要素が加わっているため、若干操作が異なります。パッドを押したときに最小単位の音符、[REPEAT/STEP]キーを押したときに最小単位の休符が入力されるのはドラムトラックと同じですが、どのパッドを押すかでベース音の音高が決まります。

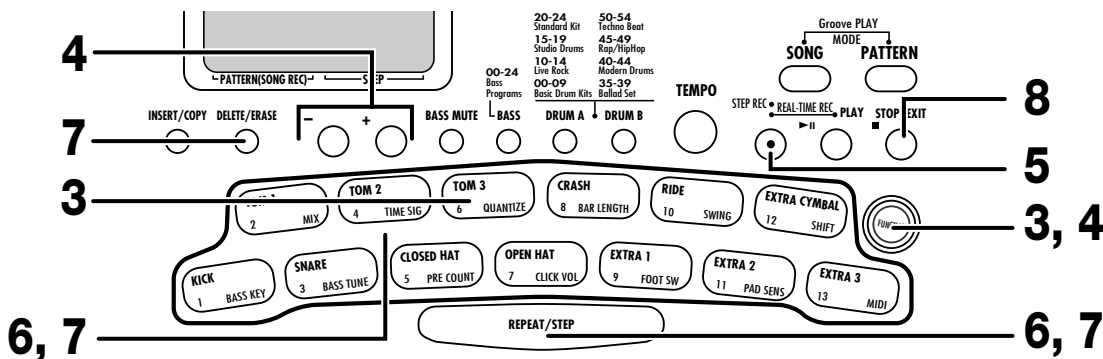
また、最小単位の音符よりも長い音符を入力するには、そのパッドを押さえた状態で[REPEAT/STEP]キーを繰り返し押します。[REPEAT/STEP]キーを1回押すごとに、最小単位の音符分だけ入力される音符が長くなります。

例えば次の譜例のようなベースのフレーズを入力するときは、最小単位として8分音符を選び、次の図のように入力します。



# ドラムトラックのステップ録音

ここでは、ドラムトラック A / B にステップ録音する方法を説明します。



**操作 1** パターンモードで空のユーザーパターンを選んでください。

**HINT** すでに録音されているパターンを空のパターンにする場合は、パターンを消去する必要があります。34ページをご参照ください。

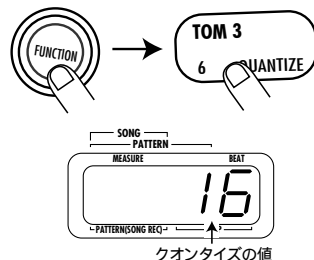
**操作 2** 録音するドラムトラックとキットを選んでください。

トラックやキットの選択方法は、リアルタイム録音と同じです ( P20 )。ここでは [DRUM A] キーを押してドラムトラック A を選び、必要に応じてキットを切り替えてください。

**HINT** ドラムトラック B にも同じ要領で録音できます。

**操作 3** [FUNCTION] キー パッド 6 ( QUANTIZE ) の順に押してください。

ディスプレイに現在のクオンタイズの設定値が表示されます。ステップ入力時の最小単位となる音符は、この値で決定されます。



**操作 4** [VALUE + / -] キーを使ってステップ録音の最小単位となる音符を次の中から選び、もう一度 [FUNCTION] キーを押してください。

- |    |       |            |    |       |                   |
|----|-------|------------|----|-------|-------------------|
| 4  | ..... | 4 分音符      | 32 | ..... | 32 分音符            |
| 8  | ..... | 8 分音符      | 48 | ..... | 32 分 3 連音符        |
| 12 | ..... | 8 分 3 連音符  | Hi | ..... | 1 チック             |
| 16 | ..... | 16 分音符     |    |       | ( 4 分音符の 1 / 96 ) |
| 24 | ..... | 16 分 3 連音符 |    |       |                   |

**HINT** [FUNCTION] キーの詳しい説明は、43ページをご参照ください。

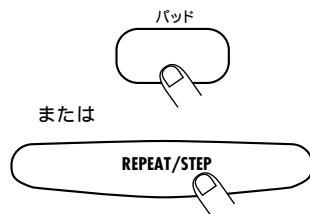
**操作 5** [REC]キーを押してください。

[REC]キーと[PLAY]キーのLEDが点灯し、録音待機状態となったことを示します。



**操作 6** 音符を入力したいときはその音色に相当するパッド、休符を入力したいときは[REPEAT/STEP]キーを押してください。

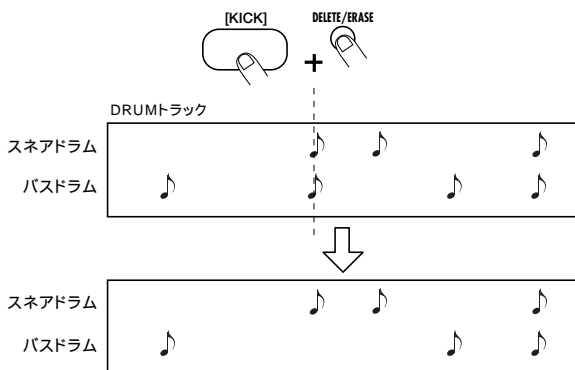
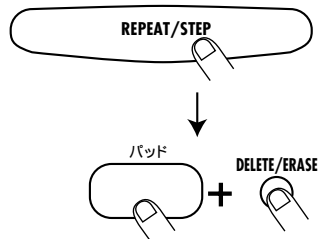
例えば[KICK]パッドを叩くと、バスドラムの音符が入力され( [KICK]パッドのLEDが一瞬点灯します )、パターンの現在位置が最小単位の音符分だけ進みます。もちろん叩いた強さも記録されます。パターンの最後まで進んだら、自動的に先頭に戻りますので、引き続き別の音色を入力できます。



**HINT** パターンの現在位置は、ディスプレイで確認できます( 小節 / 拍単位 )。

**操作 7** 録音した音を消したい場合は、[REPEAT/STEP]キーでその位置まで進めて、[DELETE/ERASE]キーを押しながら該当するパッドを押してください。

[REPEAT/STEP]キーで位置を進めていくと、現在位置に入力されている音に対応するパッドのLEDが点灯します。[DELETE/ERASE]キーを押しながらパッドを押すと、LEDが消灯し、その位置にあった音は消去されます。



**NOTE** ステップ録音では、トラック全体の演奏を消去することはできません。

**操作 8** 録音が終了したら[STOP/EXIT]キーを押してください。

[REC]キーのLEDが消灯し、ステップ録音を終了します。

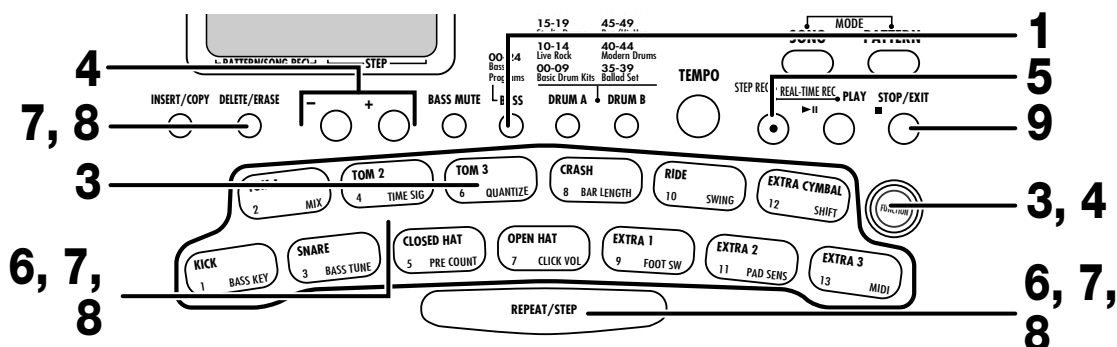


**操作 9** ドラムトラック Bにも録音したい場合は、操作 3 ~ 8 を繰り返してください。

**NOTE** 操作 4 で[FUNCTION]キーを押さずに操作 5 を行った場合、そのトラックにすでに録音されたパターンのクオンタイズ値も変わってしまいますので、ご注意ください。例えば 16 分音符単位でステップ録音した後でクオンタイズの値を 4 分音符単位に変更し、[FUNCTION]キーを押さずに[REC]キーを押した場合、すでにそのトラックに録音されたパターンは 4 分音符単位にそってしまいます。

## ベーストラックのステップ録音

「ドラムトラックのステップ録音」でドラムを録音したパターンに、ベーストラックをステップ録音で加えてみましょう。ベーストラックには「音高」と「音の長さ」という要素があるため、ドラムトラックとは若干操作が異なります。



**操作 1** [BASS]キーを押してください。

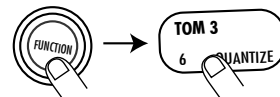
ベーストラックが選択されます。



**操作 2** 必要に応じて、使用するベースプログラムを選択してください。

ベースプログラムの選択方法は、リアルタイム録音と同じです( P.24 )

**操作 3** [FUNCTION]キー パッド6(QUANTIZE)の順に押してください。



**操作 4** [VALUE + / -]キーを使ってクオンタイズの値(録音される最小単位の音符)を選択し、もう一度[FUNCTION]キーを押してください。

クオンタイズの値については、29ページをご参照ください。



**操作 5** [REC]キーを押してください。

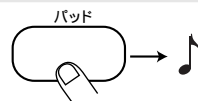
[REC]キーと[PLAY]キーのLEDが点灯し、ステップ録音の待機状態になったことを示します。



**NOTE** 操作4で[FUNCTION]キーを押さずに操作5を行った場合、ベーストラックにすでに録音された音符のクオンタイズ値も変わってしまいますので、ご注意ください。例えば16分音符単位でステップ録音した後でクオンタイズの値を4分音符単位に変更し、[FUNCTION]キーを押さずに[REC]キーを押した場合、すでにベーストラックに録音された音符は4分音符単位にそろってしまいます。

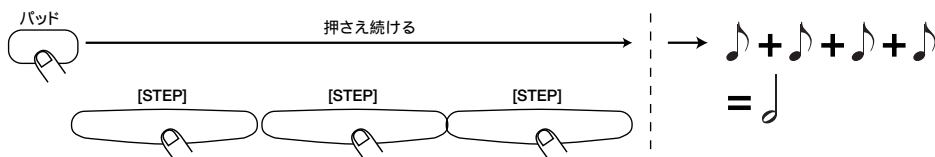
**操作 6** ベース音の音高や長さ、さらに音符が休符かに応じて、パッド、[REPEAT/STEP]キー、あるいはその両方を押してください。

ベーストラックのステップ録音方法は、つぎの3種類があります。  
最小単位の音符を入力する場合.....パッドを押して離してください。そのパッドに相当する音高で最小単位の音符が入力され、次のステップに



進みます。

最小単位の休符を入力する場合.....[REPEAT/STEP]キーを押して離してください。最小単位の休符が入力され、次のステップに進みます。[REPEAT/STEP]キーを繰り返し押すことで長い休符も入力できます。最小単位の音符より長い音符を入力する場合.....パッドを押しながら[REPEAT/STEP]キーを繰り返し押してください。[REPEAT/STEP]キーを1回押すごとに、直前の音が最小単位の音符分だけ延長されます。



パッドを押すとLEDが点灯し、その音符が入力されたことを示します。パターン内の現在位置はディスプレイ(小節/拍単位)で確認できます。

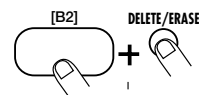


パターン全体の長さよりも長い音符は入力できません。パターンの長さを越えて入力しても、パターンの終わり部分までの長さとなります。

### 操作 7

特定の音符を消したい場合は、[REPEAT/STEP]キーでその音符が鳴り始める位置まで進めて、[DELETE/ERASE]キーを押しながらそのパッドを押してください。

[REPEAT/STEP]キーで位置を進めていくと、その位置に入力されている音符に相当するパッドのLEDが点灯します。[DELETE/ERASE]キーを押しながらパッドを押せばLEDが消灯し、その位置にあった音符は消去されます。



BASSトラック

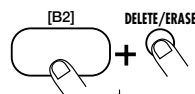


### 操作 8

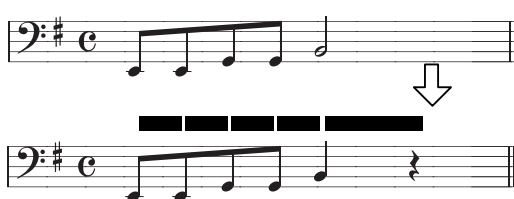
録音した音符の長さを短くしたい場合は、[REPEAT/STEP]キーで音符を終了させたい位置までステップを進めて、[DELETE/ERASE]キーを押しながらそのパッドを押してください。



ステップ録音では、トラック全体の演奏を消去することはできません。



BASSトラック  
音の長さ →



### 操作 9

録音が終了したら[STOP/EXIT]キーを押してください。

[REC]キーのLEDが消灯し、ステップ録音を終了します。

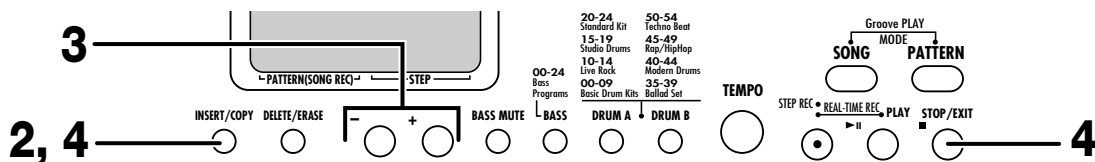


# パターンのコピー / 消去

ここでは、パターンのコピー方法や消去方法について説明します。

## パターンのコピー

RT-123内部のパターン(プリセットパターンとユーザーパターン)は、ユーザーパターンの別の番号にコピーすることができます。プリセットパターンの一部を変更したり、ドラムトラックの演奏はそのままベーストラックのみフレーズを変えたいときに便利な機能です。



**操作 1** パターンモードで、コピー元となるパターンを選んでください。

コピー元は、ユーザーパターンまたはプリセットパターンのどちらでも選べます。ただし、空のユーザーパターン(ディスプレイの右端に「E」と表示されます)をコピー元にすることはできません。

**NOTE** コピーを実行すると、コピー先のパターン番号にそれまで入っていたパターンは消えてしまいます。コピー先のパターンを消してもいいかどうかを必ず確認してください。



**操作 2** [INSERT/COPY]キーを押してください。

[INSERT/COPY]キーのLEDが点滅し、現在のパターンがコピー元として選ばれます。



**操作 3** [VALUE +/-]キーでコピー先のユーザーパターン(U01 ~ U99)を選んでください。

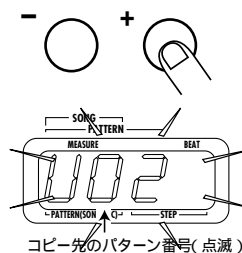
コピー先として選択できるのはユーザーパターンのみです。

**HINT**

- [VALUE +/-]キーのいずれか1つを押し続ければ、値を連続的に変化させることができます。
- また、[VALUE +/-]キーのいずれか一方を押さえた状態でもう一方を押せば、数値を素早く増減させることができます。

**NOTE**

- コピー元がユーザーパターンの場合、操作2を実行した後で同じパターンが最初に選ばれています。ただし、コピー元と同じパターンにコピーすることはできません。
- コピー元がプリセットパターンの場合、ユーザーバンクの同じパターン番号が最初に選ばれます。



**操作 4** コピーを実行する場合は[INSERT/COPY]キーを、取り消す場合は[STOP/EXIT]キーを押してください。

コピーを実行すると、コピー先のパターンが選ばれた状態でパターンモードに戻ります。

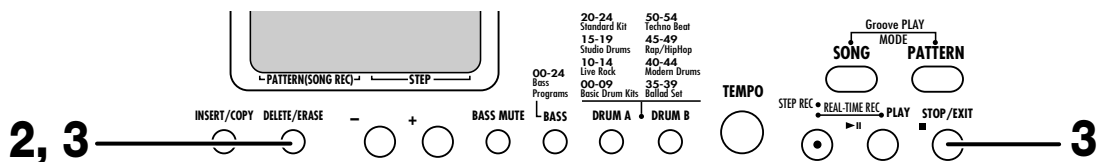


コピーを取り消した場合はコピー元のパターンが選ばれた状態でパターンモードに戻ります。



## パターンの消去

不要となったユーザーパターンは、いつでも消去して空の状態に戻すことができます。この機能は、新規のユーザーパターンを作りたいときや、メモリーの空き容量を増やしたいときに利用します。

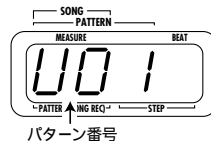


**操作 1** パターンモードで消去したいユーザーパターン(U01 ~ U99)を選んでください。

ディスプレイにパターンの番号が表示されます。



消去したユーザーパターンは、二度と復帰できなくなります。実行する前に消してもいいかどうかを必ず確認してください。



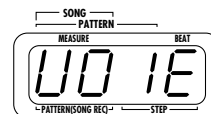
**操作 2** [DELETE/ERASE]キーを押してください。

[DELETE/ERASE]キーのLEDが点滅し、ディスプレイにパターン番号と「dEL」の文字が交互に表示されます。



**操作 3** 消去を実行する場合は[DELETE/ERASE]キーを、取り消すなら[STOP/EXIT]キーを押してください。

消去を実行すると、空のユーザーパターンが選ばれた状態でパターンモードに戻ります。このとき、ディスプレイに「E」と表示されます。消去を取り消せば元のユーザーパターンが選ばれた状態でパターンモードに戻ります。

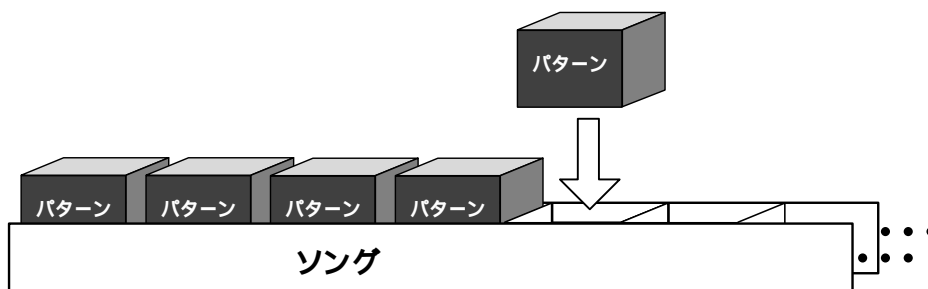


# ソングを作ろう (ソングモード)

ここでは、ユーザーパターンを演奏順に並べて1曲分のバックギング演奏(ソング)を作るソングモードについて説明します。

## ソングとは?

ソングとは、ユーザーパターンを演奏順に並べたものです(プリセットパターンは使えません)。ソングの中にパターンを並べるための箱(これを“ステップ”と呼びます)があり、その1つ1つのステップにパターンを入れていくと考えるとわかりやすいでしょう。1曲のソングでは最大99ステップが利用でき、RT-123本体に最大99曲のソングを作ることができます(実際のステップ数や曲数は、ユーザーパターンや他のソングで使用している音数により変化します)。またソングモードでは、曲の途中でテンポや音量を変えることも可能です。



ステップ数 = 小節数ではないことにご注意ください。1つ1つのステップの長さは、中に入れるパターンに応じて変わります。

ソングの各ステップには、パターン番号以外に以下の設定を書き込むことができます。

テンポチェンジ.....ソングモードでは各ソングごとにそれぞれテンポが記憶されます(テンポの設定は[TEMPO]キーを使って設定します。38ページをご参照ください)。さらに現在のソングで設定されているテンポを基準として、各ステップのテンポを - 30 ~ 0(変更なし) ~ 30 BPMの範囲で変更できます(BPM = テンポを表す単位。1分間に演奏される4分音符の数を表します)。

音量設定.....ステップで再生されるパターンの音量を、0(変更なし) ~ - 30の範囲で変更できます。

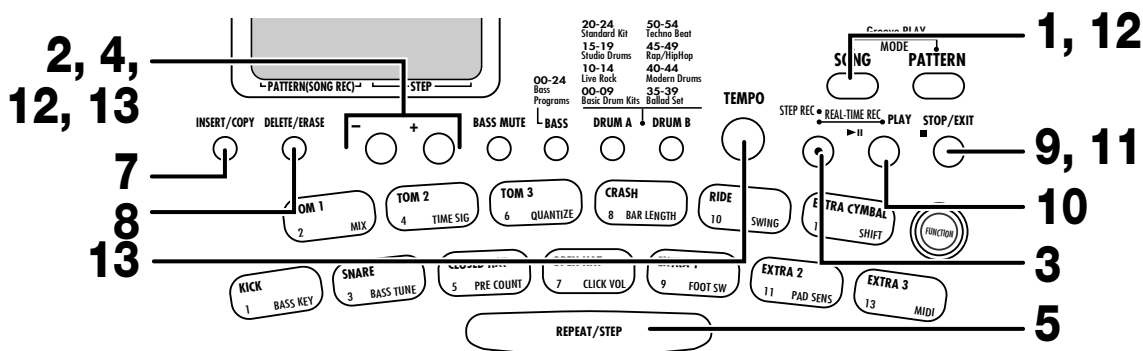
トランスポーズ.....ベーストラックのトランスポーズ(移調)を、半音単位で - 6 ~ 0(変更なし) ~ 6の範囲で設定できます。

ステップ0	ステップ1	ステップ2	..... ステップ98
<ul style="list-style-type: none"><li>・パターン番号</li><li>・テンポ情報</li><li>・音量情報</li><li>・トランスポーズ情報</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・パターン番号</li><li>・テンポ情報</li><li>・音量情報</li><li>・トランスポーズ情報</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・パターン番号</li><li>・テンポ情報</li><li>・音量情報</li><li>・トランスポーズ情報</li></ul>	

ソングを作る(ソングモード)

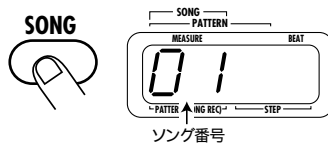
# ソングの記録と再生

ソングにパターンを並べて1曲分の演奏を作ってみましょう。



**操作1** [SONG]キーを押してください。

RT-123がソングモードになります。ディスプレイに現在選択されているソング番号が表示されます。

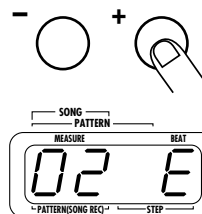


**操作2** [VALUE + / -]キーを使って空のソング番号を選んでください。

ソングモードでは、[VALUE + / -]キーを使ってソングを選択します。空のソングが選ばれた場合、ディスプレイの右端に「E」の文字が表示されます。



- ・ [VALUE + / -]キーのいずれか1つを押し続けると、値を連続的に変化させることができます。
- ・ また、[VALUE + / -]キーのいずれか一方を押さえた状態でもう一方を押せば、数値を素早く増減させることができます。



**操作3** [REC]キーを押してください。

[REC]キーのLEDが点灯します。これはRT-123がソングの記録可能な状態となったことを示しています。

ディスプレイの下2桁にステップ番号、上2桁にそのステップで選択されているパターン番号が表示されます。

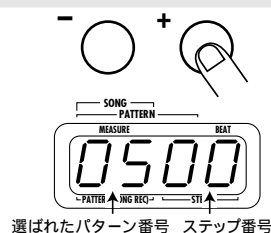


**操作4** [VALUE + / -]キーを使って最初のステップに割り当てるユーザーパターンを選んでください。

ソングの記録中には、[VALUE + / -]キーを使ってそのステップに割り当てるユーザーパターンを選びます(プリセットパターンは選択できません)。選択したパターン番号がディスプレイの上2桁に表示されます。



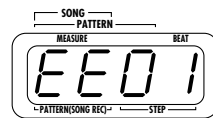
現在選択されているパターンを再生して聞いてみたい場合は、[PLAY]キーと[STOP/EXIT]キーで、パターンの再生/停止が行えます。パターンの再生中にステップを切り替え、前後のパターンを確認することも可能です。



ソングを作る(ソングモード)

**操作 5** 次のステップに移動するには、[REPEAT/STEP]キーを押してください。

ディスプレイの下2桁が2つ目のステップに進み、上2桁にソングの終わりを表す“EE”の記号が表示されます。この状態で、2つ目のステップのパターンが選択できます。また、[REPEAT/STEP]キーを押しながら[VALUE -]キーを押すことで前のステップに移動できます。



[SONG]キーを押しながら[VALUE +/-]キーを押すことで、ステップを前後に移動することも可能です。

**操作 6** 1曲分のソングを作るまで、操作4～5を繰り返してください。

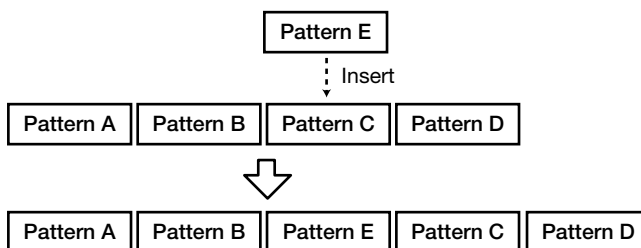


1曲のソングには、最大99ステップ(ステップ00～98)のパターンが書き込めます。

**操作 7** 現在選択されているステップの位置にパターンを挿入したい場合は、[INSERT/COPY]キーを押した後で、操作4を行ってください。

現在選択されているステップに新規パターンが挿入され、それ以降のステップが1つずつ後ろにずれます。

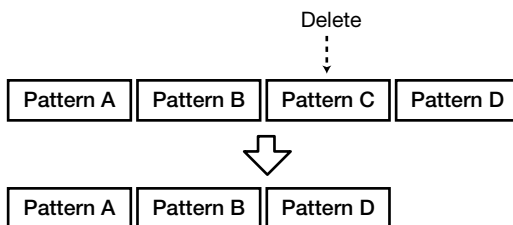
INSERT/COPY



**操作 8** 現在選択されているステップを削除したい場合には、[DELETE/ERASE]キーを押してください。

現在選択されているステップが削除され、それ以降のステップが1つずつ前にずれます。

DELETE/ERASE



**操作 9** 1曲分のソングが完成したら[STOP/EXIT]キーを押してください。

[REC]キーのLEDが消灯し、ソングの記録を終了します。このとき、ソングの位置は1ステップ目に戻ります。

STOP/EXIT



## 操作 10 ソングを聴くには、[PLAY]キーを押してください。

[PLAY]キーのLEDが点灯し、ソングが再生されます。また、[TEMPO]キーのLEDがテンポに合わせて点滅します。ソングの再生中には、ディスプレイの上2桁にソング番号、下2桁に現在のステップ番号が表示されます。



また、ソングの再生中に[PATTERN]キーを押すと、キーを押している間ディスプレイの表示が先頭からの小節数に変わります。



ソング先頭からの小節数(この例では125小節目)



- 再生中に操作2を行えば、再生を停止せずに次々とソングを変えることができます。
- ソング再生中に[BASS MUTE]キーを押すとベーストラックをミュートできます。元の状態に戻すには、もう一度同じキーを押します。



- ソングの途中で休止を入れるには、あらかじめパターンモードで休符のパターンを作っておき、ソングモードでその休符のパターンをステップに書き込みます。空のパターンをソングのステップに書き込むと、ソングを再生したときにそのステップで停止してしまいますので、ご注意ください。
- 休符のパターンは、パターンモードで空のパターンを選び、[REC]キーを押せば作成できます。このとき、[REC]キーを押したときのBASS KEY(ベーストラックのみ)、MIX、TIME SIG、BAR LENGTH、ドラムキット/ベースプログラムの設定が記憶されます。

## 操作 11 [STOP/EXIT]キーを押してソング再生を停止してください。

LEDが消灯し、ソングは先頭の位置に戻ります。再度[PLAY]キーを押すとソングの先頭から再生されます。



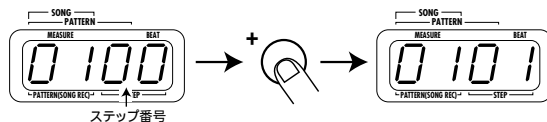
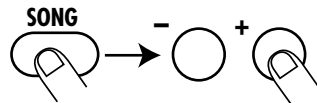
[STOP/EXIT]キーの代わりに[PLAY]キーを押すとLEDが点滅しポーズ(一時停止)状態となります。この状態から再生を開始すると止まった位置からスタートします。



ソングの再生中にもパッドを使ったマニュアル演奏が行えます。

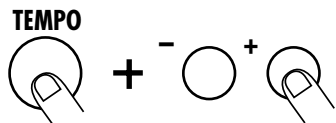
## 操作 12 ソングの途中から再生したいときは、ソングが停止した状態で[SONG]キーを押しながら[VALUE + / -]キーを押してください。

[VALUE +]キーを押すとディスプレイに表示されたステップ番号が1つ進み、[VALUE -]キーを押すと1つ前に戻ります。この状態から[PLAY]キーを押せば、選択したステップからソングの再生が始まります。



## 操作 13 ソングのテンポを変更したいときは、[TEMPO]キーを押したまま[VALUE + / -]キーを使ってテンポの値(BPM)を調節してください。

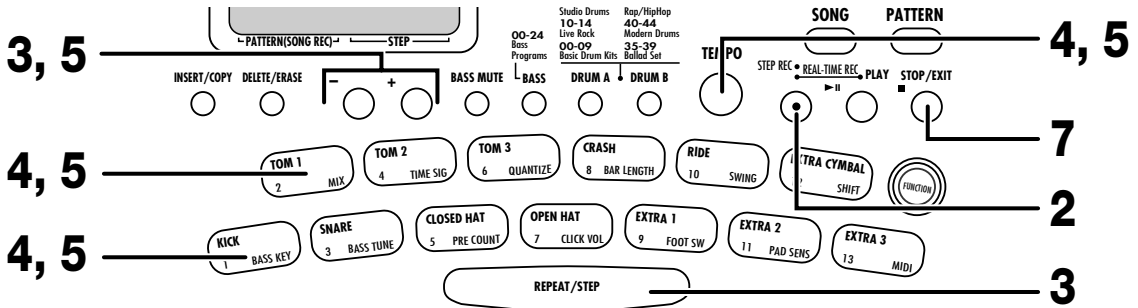
パターンモードと同じように、[TEMPO]キーを2回叩いてテンポを指定することも可能です。



RT-123は、ソングごとのテンポ(これを「マスターテンポ」と呼びます)を自動的に記憶しています。ソングを切り替えると、そのソングで最後に設定したテンポが呼び出されます。

# ソングの編集

ここでは、すでにパターンを書き込んだソングに対し、曲の途中でテンポや音量などを変化させる方法を説明します。



**操作 1** ソングモードでテンポや音量を変化させたいソングを選んでください。

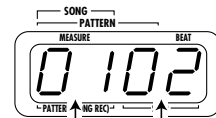
**操作 2** [REC]キーを押してください。

[REC]キーのLEDが点灯し、ソングの編集が可能となります。

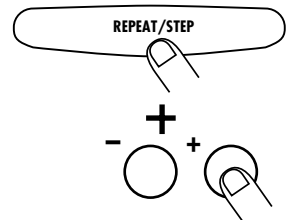


**操作 3** [REPEAT/STEP]キーを押しながら[VALUE +/-]キーを押して、編集したいステップを選んでください。

ディスプレイの下2桁にステップ番号、上2桁にそのステップで選択されているパターン番号が表示されます。



現在選ばれているパターン番号 ステップ番号

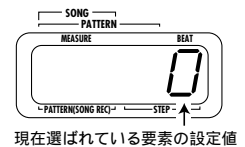


**HINT** [SONG]キーを押しながら[VALUE +/-]キーを押すことで、ステップを前後に移動することも可能です。

**操作 4** 変更したい要素に応じてつぎのキー(パッド)を押してください。

- パターンのテンポチェンジを設定したい場合.....[TEMPO]キー
- パターンの音量を設定したい場合.....パッド2(MIX)
- ベーストラックのトランスポーズを設定したい場合.....パッド1(BASS KEY)

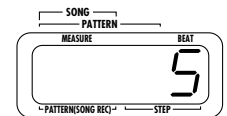
キー(パッド)を押している間、選択された要素の設定値がディスプレイに表示されます



現在選ばれている要素の設定値

**操作 5** 変更したい要素のキー(パッド)を押しながら、[VALUE +/-]キーで設定値を変更してください。

- 各要素の可変範囲はつぎの通りです。
- テンポチェンジ..... - 30 ~ 0 ~ 30BPM
- 音量..... 0 ~ - 30
- トランスポーズ..... - 6 ~ 0 ~ 6(半音単位)



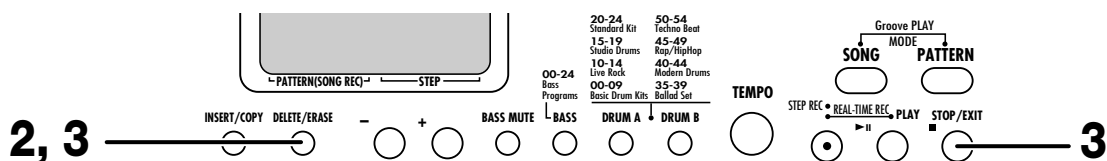
**操作 6** 必要な要素をすべて設定するまで、操作3~5を繰り返してください。

**操作 7** ソングの編集を終了するには、[STOP/EXIT]キーを押してください。

ソングを作る(ソングモード)

## ソングの消去

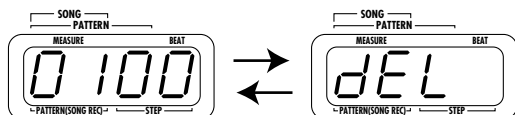
新たなソングを作る場合など、ソングをまるごと消去する方法を説明します。



**操作 1** ソングモードで消去したいソングを選んでください。

**操作 2** [DELETE/ERASE]キーを押してください。

[DELETE/ERASE]キーのLEDが点滅し、ディスプレイにソング番号と“dEL”という文字が交互に表示されます。



**操作 3** ソングの消去を実行したい場合は[DELETE/ERASE]キー、取り消したい場合は[STOP/EXIT]キーを押してください。

消去を実行した場合は、空のソングが選ばれた状態でソングモードに戻ります。ソングの消去を取り消した場合は、元のソングが選ばれた状態でソングモードに戻ります。



一度消去したソングは復帰できません。ソングの消去は慎重に行ってください。

DELETE/ERASE



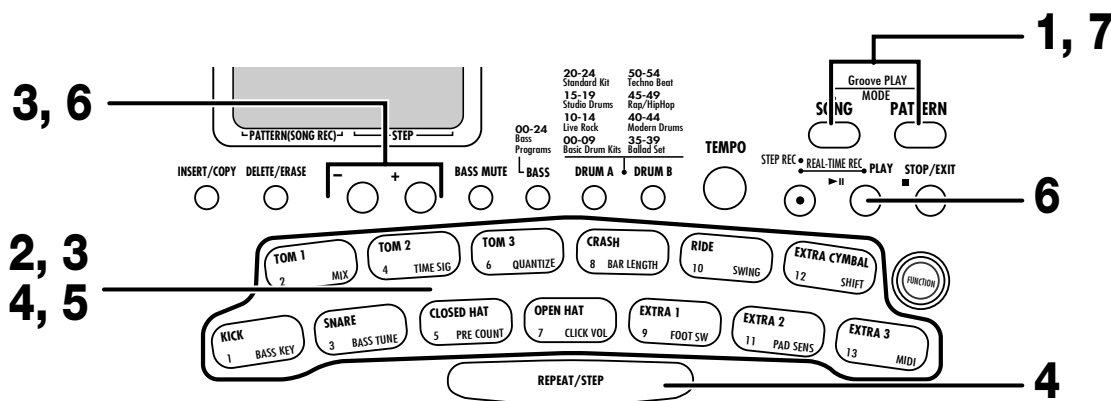
STOP/EXIT





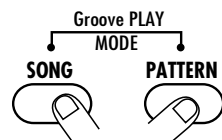
# パッドを使ってパターンを鳴らそう (グループプレイ)

ここではグループプレイモードの操作について説明します。グループプレイモードとは、13個のパッドに再生したいパターンを割り当てて、パッドを使ってパターンを切り替えながら演奏するモードです。最大4つのパターンを同時に再生することもでき、拍子の異なる2つのパターンを同時に鳴らしたり、同じ拍子のパターンを1拍ずらして鳴らすことで、複雑なリズムを作り出すことが可能です。



## 操作 1 [SONG]キーと[PATTERN]キーを同時に押してください。

RT-123がグループプレイモードとなり、[SONG]キーと[PATTERN]キーの両方のLEDが点灯します。ディスプレイにはソング番号が表示されます。

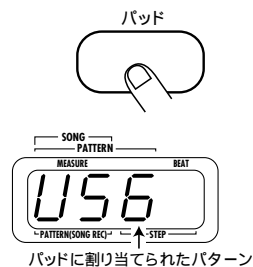


### NOTE

グループプレイモードでは、すべてのパターンが現在選ばれているソングのマスターテンポで演奏されます。必要ならば[TEMPO]キーを使ってソングのテンポを変更してください。

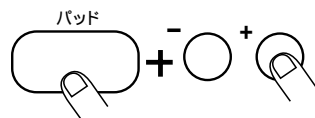
## 操作 2 お好きなパッドを押してみてください。

RT-123が初期状態のときは、あらかじめパッド1～13にパターンが割り当てられており、パッドを押さえることでそのパターンが繰り返し再生されます。このとき、パッドを叩く強さに応じてパターン全体の音量が変化します。また、パッドを押さえている間、ディスプレイにパターン番号が表示されます。



## 操作 3 パッドに割り当てるパターンを変えたいときは、パッドを押さえたまま[VALUE + / -]キーでパターンを選択してください。

プリセットパターン、またはユーザーパターンのどちらでも選べます。また「U01 (ユーザーパターン01)」が表示された状態で[VALUE -]キーを押すと、ディスプレイの表示が「PAD」に変わります。「PAD」を選択したパッドは、パターンの代わりにそのパッド本来の音色(キックやスネアなど単発の音色)を演奏できます。



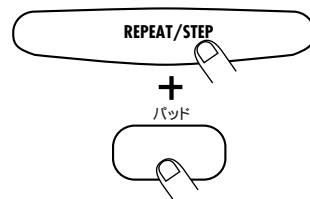
### HINT

パッドごとのパターンの割り当ては、電源を切っても記憶されます。

パッドを使ってパターンを鳴らそう(グループプレイ)

**操作 4** パッドを離しても繰り返し再生させたい場合は、[REPEAT/STEP]キーを押しながらパッドを押してください。

パッドを離しても、そのパターンがループ再生されます。再度同じパッドを押せばループ再生が解除され、通常のグループプレイに戻ります。



**操作 5** 複数のパターンを同時に鳴らしたいときは、複数のパッドを押さえてください。

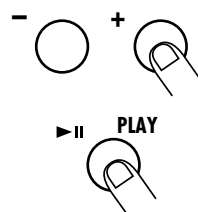
最大4つまでのパターンが同じテンポで同時再生されます。それぞれのパッドを押さえるタイミングをずらして演奏させることも可能です。



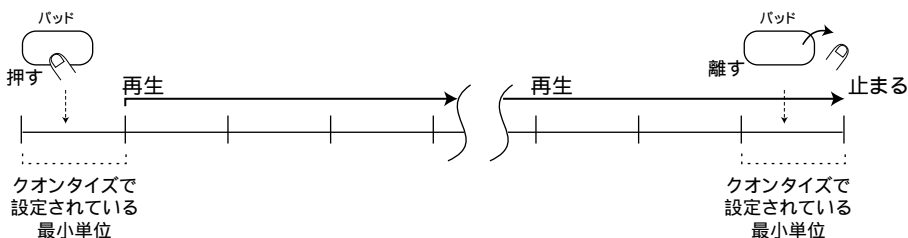
**NOTE** 5つ以上のパッドを同時に押さえた場合は、後から押したパッドが優先されます。

**操作 6** グループプレイのバックでソングを再生したいときは[VALUE + / -]キーを使ってソング番号を選び、[PLAY]キーを押してください。

グループプレイモードでは、[PLAY] / [STOP/EXIT]キーを使って現在選ばれているソングの再生 / 停止が行えます。ソングを再生しているときでも、最大4つのパッドに割り当てられたパターンを同時に演奏できます。



- HINT**
- ・ ソング番号を変更すると、新しいソングのマスターテンポに合わせてグループプレイのテンポも変更されます。必要に応じてソングのマスターテンポを再調節してください。
  - ・ グループの再生中には、同時に鳴らす他のグループやソングとタイミングが合うように、クオンタイズで設定された間隔(最小単位の音符)でパッド操作(押す / 離す)を検出しています。このため、速いテンポで演奏するときはクオンタイズの値を小さめに設定するとタイミングが合いやすくなります。また、微妙なタイミングのズレを楽しむにはクオンタイズの値を大きめに設定するとい良いでしょう。



- NOTE**
- ・ グループプレイモードでは、ソングの編集はできません。
  - ・ グループプレイ中にベーストラックをミュートしても、パッドで演奏するパターンには影響しません。再生中のソングに対してのみ有効となります。

**操作 7** グループプレイモードを抜け出たいときは、[SONG]キーまたは[PATTERN]キーを押してください。

RT-123がソングモードまたはパターンモードとなります。



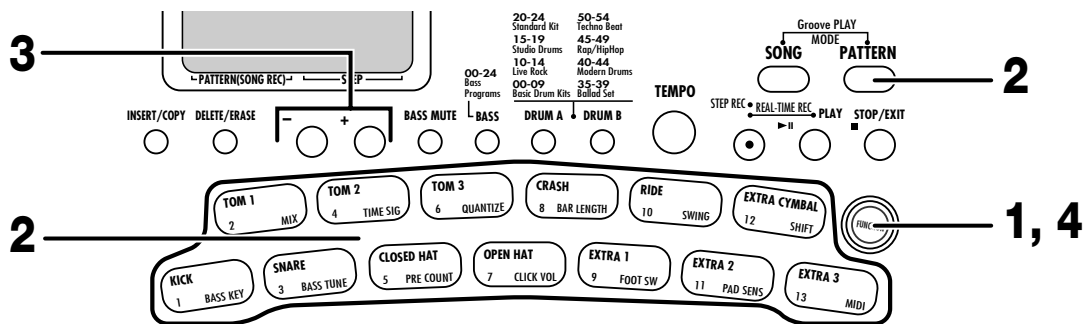
パッドを使ってパターンを鳴らそう(グループプレイ)

# ファンクションキーの設定

[FUNCTION]キーは、RT-123の各種設定を行うためのキーです。ここでは[FUNCTION]キーの基本操作や、設定可能な各項目について説明します。

## ファンクションキーの基本操作

[FUNCTION]キーの操作手順は、ほとんどが共通しています。基本的な操作手順は次の通りです。



### 操作 1 [FUNCTION]キーを押してください。

[FUNCTION]のLEDが点滅し、設定する項目を選べる状態となります。



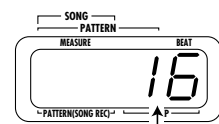
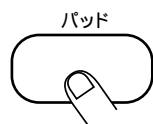
項目によっては、パターンモードで停止中の場合のみ選択できるものがあります。また、操作1の前に対象となるパターンを選んでおく必要がある項目もあります。



### 操作 2 設定したい要素に応じて、パッド1～13、[PATTERN]キーを押してください。

設定する項目を選択するには、パッドやキーを使用します。フロントパネルのパッド1～13、[PATTERN]キーには、それぞれ次の項目が割り当てられています(パッドに割り当てられた項目名は、パッドの右下に印刷されています)。

- パッド1(BASS KEY) ..... ベースプログラムの音高を半音単位で調節します。
- パッド2(MIX) ..... パターン/トラックのレベルを設定します。
- パッド3(BASS TUNE) ..... ベースプログラムのチューニングを調節します。
- パッド4(TIME SIG) ..... パターンの拍子を設定します。
- パッド5(PRE COUNT) ..... 前カウントのオン/オフや小節数を設定します。
- パッド6(QUANTIZE) ..... クオンタイズの値を設定します。
- パッド7(CLICK VOL) ..... メトロノーム音の音量を設定します。
- パッド8(BAR LENGTH) ..... パターンの小節数を設定します。
- パッド9(FOOT SW) ..... フットスイッチの機能を選択します。
- パッド10(SWING) ..... 再生時のスイング量を設定します。
- パッド11(PAD SENS) ..... パッドの感度を調節します。
- パッド12(SHIFT) ..... 再生タイミングを前後にずらす量を設定します。
- パッド13(MIDI) ..... MIDI受信のオン/オフやトラックごとのMIDIチャンネルを設定します。



パッドやキーで選ばれた項目の設定値

[PATTERN]キー …… パターンモードでは、ディスプレイに表示される項目を設定するのに使用します。また、ソングモードでは、メモリー残量を表示するのに使用します。

ディスプレイに該当する項目の設定値が表示されます。

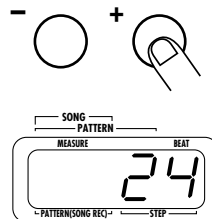


項目によっては、パッドを押して項目を選んだ後で、操作の対象となる音色やトラックを選択する必要があります。

### 操作 3 [VALUE + / -]キーで、設定値を変更してください。



- ・ [VALUE + / -]キーのいずれか1つを押し続ければ、値を連続的に変化させることができます。
- ・ また、[VALUE + / -]キーのいずれか一方を押さえた状態でもう一方を押せば、数値を素早く増減させることができます。



### 操作 4 [FUNCTION]キーをもう一度押してください。

操作3で変更した設定値が確定され、RT-123がファンクション設定を終了します。設定値の変更を取り消すことはできません。設定値を元に戻したいときは再度設定してください。

ただし、拍子( TIME SIG )と小節数( BAR LENGTH )の設定に関しては、操作4で[FUNCTION]キーの代わりに[EXIT]キーを押すことで、以前の設定に戻すことができます。

[FUNCTION]キーは、その他にパターンのバンク切り替え( P 13 )やユーザーパターンのオールクリア( P 55 )、デモプレイ( P 8、P 55 )にも使用します。



## ファンクションキーの各項目

ここでは、ファンクションキーに割り当てられた各項目の設定範囲と機能を説明します。

### ■ ベース音の音高を半音単位で調節する(BASS KEY)

【設定範囲】パッド1の音高：A1 ~ A2  
パッド2 ~ 13の音高：E1 ~ A4

各パッドに割り当てられたベースプログラムの音高を半音単位で調節します。ベースプログラム全体の音高を上下させる方法と、パッド2 ~ 13の音高を個別に調節する方法があります。

ベースプログラム全体の音高を上下させるには  
[FUNCTION]キー パッド1(BASS KEY)の順で押した直後には、パッド1に割り当てられた音名(A1 ~ A2)がディスプレイに表示されます。[VALUE + / -]キーを使ってこの音名を変更すれば、それに伴ってパッド2 ~ 13の音高も平行移動します。

パッド2 ~ 13の音高を個別に上下させるには  
[[FUNCTION]キー パッド1(BASS KEY)の順で押した後で、パッド2 ~ 13のうちいずれか1つを押しながら[VALUE + / -]キーでそのパッドに割り当てる音名(E1 ~ A4)を指定します。この場合は、他のパッドの音高には影響しません。

パッド1 = A2のとき

パッド1 = A1のとき

E 1 . . . E 2 F 2 F#2 G 2 G#2 A 2 A#2 B 2 C 3 C#3 D 3 D#3 E 3 . . . A 3 . . . A 4  
E 1 . . . E2 F2 F 2 G2 G 2 A2 A 2 B2 C3 C 3 D3 D 3 E3 . . . A3 . . . A4



この設定は、再度[FUNCTION]キーを押して抜け出たときに、パターンごとに記憶されます。

### ■トラックのレベルを設定する(MIX)

【設定範囲】0 ~ 99

パターンのトラックごとの音量を0 ~ 99の範囲で調節します。  
この項目を選んだときは、[DRUM A]、[DRUM B]、[BASS]の各キーでトラックを選択してから、[VALUE + / -]キーで設定値を変更してください。



この設定は、再度[FUNCTION]キーを押して抜け出たときに、パターンごとに記憶されます。

## ■ ベース音のチューニングを調節する(BASS TUNE)

【設定範囲】435 ~ 445 ( 初期設定値 : 440 )

ベース音のチューニングをA=435Hz ~ A=445Hzの範囲で調節します。

## ■ パターンの拍子を設定する(TIME SIG)

【設定範囲】2、3、4

パターンの拍子を2( 2/4 拍子 )、3( 3/4 拍子 )、4( 4/4 拍子 )の中から選択します。  
すでに録音されているパターンの拍子を変更することもできますが、その場合録音された演奏がつぎのように変化します。特に短くする場合は注意が必要です。

現在の拍子よりも長くする場合  
各小節の後ろの長くなった部分に空白が追加されます。

現在の拍子よりも短くする場合  
各小節の飛び出ている部分の演奏が削除されます。一度[FUNCTION]キーの設定を抜け出て変更が確定されると、やり直しはできませんのでご注意ください。



この設定は、再度[FUNCTION]キーを押して抜け出たときに、パターンごとに記憶されます。

## ■ 前カウントを設定する(PRE COUNT)

【設定範囲】0、1、2、PAd ( 初期設定値 : 1 )

パターンのリアルタイム録音時の前カウント( 録音開始前のメトロノーム音 )の有無、および前カウントの小節数などを設定します。この設定はすべてのパターンに共通です。

各設定値の内容は以下の通りです。

- 0 : 録音をスタートすれば、すぐにリアルタイム録音開始となります。
- 1 : 1小節のカウントが鳴ってからリアルタイム録音が始まります。
- 2 : 2小節のカウントが鳴ってからリアルタイム録音が始まります。
- PAd : 録音が待機状態となり、いずれかのパッドを叩くと同時に録音が始まります。

## ■ パターンの分解能を設定する(QUANTIZE)

【設定範囲】4、8、12、16、24、32、48、Hi ( 初期設定値 : 16 )

パターンのクオンタイズの値( 最小単位となる音符 )を設定します。  
クオンタイズの値は、以下の4つの機能に影響します。

リアルタイム録音時に最小単位となる音符  
ステップ録音時に最小単位となる音符  
[REPEAT/STEP]キーを押しながらパッドを押さえたときの連打音の間隔  
グループ再生時のパッドの押し離しの検出タイミング

クオンタイズの値は、次の8種類から選択できます。

4	.....4分音符	16	.....16分音符	48	.....32分3連音符
8	.....8分音符	24	.....16分3連音符	Hi	...クオンタイズなし
12	.....8分3連音符	32	.....32分音符	ステップ録音時	1チェック
					(4分音符の1 / 96)



- クオンタイズの値がHiの場合でも、[REPEAT/STEP]キーによる連打音の間隔は32分3連音符となります。
- トラック別にクオンタイズ値を設定することはできません。

## ■ メトロノーム音の音量を設定する(CLICK VOL)

【設定範囲】0 ~ 99 (初期設定値: 70)

リアルタイム録音時に鳴るメトロノーム音の音量を[VALUE + / -]キーで調節します。この設定はすべてのパターンに共通です。

## ■ パターンの小節数を設定する(BAR LENGTH)

【設定範囲】1 ~ 99

パターンの長さを1 ~ 99小節の範囲で設定します。すでに録音されているパターンの小節数を変更することもできますが、その場合録音された演奏がつぎのように変化します。特に短くする場合は注意が必要です。

現在の小節数よりも長くする場合

パターンの後ろの長くなった部分に空白の小節が追加されます。

現在の小節数よりも短くする場合

パターンの最後から飛び出ている小節の演奏が削除されます。一度[FUNCTION]キーの設定を抜け出て変更が確定されると、やり直しはできませんのでご注意ください。



この設定は、再度[FUNCTION]キーを押して抜け出たときに、パターンごとに記憶されます。

## ■ フットスイッチの機能を選択する(FOOT SW)

リアパネルの[FOOT SW]端子に接続したフットスイッチ(FS01)の機能を選択します。それぞれの機能呼び出すには、[FUNCTION] パッド9(FOOT SW)を押した後で、該当するパッド/キーを押す方法があります。

【設定値】1 ~ 13、tAP、Cont、Strt、bMut、MutE、SoLo、rEP(初期設定値: Strt)

FS01でパッドの音色を鳴らす

この機能を選ぶには、[FUNCTION] パッド9(FOOT SW)を押した後でパッド1 ~ 13のうち1つを押します(ディスプレイには1 ~ 13の数字が表示されます)。そのときの叩いた強さも記録されます。

FS01を踏んだときに、選択したパッドに割り当てられた音色が演奏されます。例えばバスドラムを足元で演奏したいときに便利です。

FS01でパッドの音色を切り替える

この機能を選ぶには、[FUNCTION] パッド9(FOOT SW)を押した後で、FS01を踏みながら最初のパッドを押し、次にFS01を放した状態で別のパッドを押します。これで最初に押したパッドの音色をFS01で切り替え可能となります。ディスプレイの下2桁には最初に押したパッド番号、上2桁には次に

押したパッド番号が表示されます。FS01を踏んでいるときは最初に選んだパッドの音色、踏んでいないときには2番目に選んだパッドの音色が演奏されます。例えば、オープンハイハットとクローズハイハットの音色を足元で切り替えたいときは、FS01を踏みながらパッド5(CLOSED HAT)を押し、FS01を放した状態でパッド7(OPEN HAT)を押します。なおFS01を踏むと、パッドを叩かなくても最初に選んだパッドの音色が鳴ります。

#### FS01でテンポを設定する

この機能を選ぶには、[FUNCTION] パッド9(FOOT SW)を押した後で、[TEMPO]キーを押します(ディスプレイに“tAP”と表示されます)。

FS01が[TEMPO]キーと同等の機能となります。FS01を2回以上踏むことで、テンポ指定が行えます(タップテンポ機能)。

#### FS01でスタート/ポーズをコントロールする

この機能を選ぶには、[FUNCTION] パッド9(FOOT SW)を押した後で[PLAY]キーを押します(ディスプレイに“Cont”と表示されます)。

FS01が[PLAY]キーと同等の機能となります。FS01を踏むたびに[再生開始] [一時停止] [停止位置から再生開始]を繰り返します。

#### FS01でスタート/ストップをコントロールする

この機能を選ぶには、[FUNCTION] パッド9(FOOT SW)を押した後で[STOP/EXIT]キーを押します(ディスプレイに“Strt”と表示されます)。

FS01が[PLAY]/[STOP/EXIT]キーと同等の機能となります。FS01を踏むたびに[再生開始] [停止] [先頭から再生開始]を繰り返します。

#### FS01でベース音をミュートする

この機能を選ぶには、[FUNCTION] パッド9(FOOT SW)を押した後で[BASS MUTE]キーを押します(ディスプレイに“bMut”と表示されます)。

FS01が[BASS MUTE]キーと同等の動きをします。FS01を1回踏むとベーストラックがミュートされ、もう一度踏むと元に戻ります。

#### FS01で任意のトラックをミュートする

この機能を選ぶには、[FUNCTION] パッド9(FOOT SW)を押した後で、[-]キーを押します(ディスプレイに“MutE”と表示されます)。

FS01を踏んでいる間、現在選ばれているトラックがミュートされます。トラックの選択には[DRUM A]、[DRUM B]、[BASS]の各キーを使用します。

#### FS01で任意のトラックをソロ演奏する

この機能を選ぶには、[FUNCTION] パッド9(FOOT SW)を押した後で[+]キーを押します(ディスプレイに“SoLo”と表示されます)。

FS01を踏んでいる間、現在選ばれているトラック以外のトラックがミュートされます。トラックの選択には[DRUM A]、[DRUM B]、[BASS]の各キーを使用します。

#### FS01で連打音をコントロールする

この機能を選ぶには、[FUNCTION] パッド9(FOOT SW)を押した後で[REPEAT/STEP]キーを押します(ディスプレイに“rEP”と表示されます)。

パターンモードでFS01を踏みながらパッドを押すと、そのパッドの音が連打音となります。

## 再生時のスイング量を設定する(SWING)

【設定範囲】50 ~ 75 (初期設定値: 50)

パターンを再生するときのスイング量(リズムの跳ね具合)を設定します。数値が大きくなるほど跳ね具合が大きくなります。なお、この項目はパターンの再生時のタイミングを変えるだけで、パターンに録音され



た演奏データには影響しません。

## ■ パッドの感度を設定する(PAD SENS)

【設定範囲】Ehrd, HArd, norM, LtE, Loud, MEd, Soft( 初期設定値 : norM )

パッドを叩く強さに対する感度を[VALUE + / - ]キーを使って設定します。

各設定値の内容は以下の7種類です。

- Soft( Fixed Soft ) ……叩く強さに関係なく小さな音量となります。
- MEd( Fixed Medium ) ……叩く強さに関係なく中くらいの音量となります
- Loud( Fixed Loud ) ……叩く強さに関係なく大きな音量となります。
- LtE( Light ) ……最も感度の高い設定で、弱く叩いても大きな音量が得られます。
- norM( Normal ) ……中間の感度の設定です。
- HArd( Hard ) ……感度の低い設定です。
- Ehrd( Extra Hard ) ……最も感度の鈍い設定で、大きな音を出すには強く叩く必要があります。

## ■ 再生タイミングを前後にずらす(SHIFT)

【設定範囲】- 192 ~ + 192 ( 初期設定値 : 0 )

現在選ばれているパターンに録音された特定のトラックの再生タイミングを、1チック( 4分音符の1 / 96 )単位、最大2拍までの範囲で前後にずらします。

“ - ”に設定した場合  
設定したトラックの再生タイミングが前にずれます。このとき前にずれたパターンは削除されます。

“ + ”に設定した場合  
設定したトラックの再生タイミングが後ろにずれます。このとき後ろにずれたパターンは削除されます。


一度[FUNCTION]キーの設定を抜け出て変更が確定されると、やり直しはできませんのでご注意ください。

## ■ MIDI受信のオン / オフを設定する(MIDI)

【設定範囲】Int, Midi ( 初期設定値 : Int )

この項目がMidiに設定されている場合、RT-123が外部シーケンサーから送られる以下のメッセージを受信します。

MIDIクロック      スタート      ストップ      コンティニュー      ソングセレクト

 この項目がMidiのときには、リアルタイム録音が行えません。

## ■ トラックごとの受信MIDIチャンネルを設定する(MIDI)

【設定範囲】oFF, 1 ~ 16

( 初期設定値   ドラムトラック A : 10 / ドラムトラック B : oFF / ベーストラック : 9 )

各トラックの受信MIDIチャンネルを設定します。ドラムトラックはoFF( 受信しない ) 1 ~ 16の中から選択

できます。また、ベーストラックはoFF(受信しない)、1~16、Auto(自動受信)の中から選択できます。  
 “Auto”は市販の演奏データ(GM音源対応のスタンダードMIDIファイル)で本機を演奏するとき、ベーストラックのMIDIチャンネルを自動的に演奏データに合わせる特殊な設定です。本機がGM音源のベース音色を選ぶメッセージを受信したときに、自動的にベーストラックがそのMIDIチャンネルに切り替わります。

[FUNCTION]キー パッド13(MIDI)の順に押した直後に[DRUM A]、[DRUM B]、[BASS]キーを押すと、トラックごとの受信MIDIチャンネルが表示されます。キーを押したままの状態では[VALUE + / -]キーを使って設定値を変更してください。この操作はトラックごとに独立して行えます。

各トラックはoFF(受信しない)、1~16の中から選択できます。

## ■ パターンモードで表示される情報を切り替える(PATTERN) パターンモードのみ

【設定範囲】Auto、LoCA、Ptno(初期設定: Auto)

パターンモードで[FUNCTION]キー [PATTERN]キーの順に押すことで、パターンモードのディスプレイにどんな情報を表示させるかが選択できます。

	<i>Auto</i>	<i>LoCA</i>	<i>Ptno</i>
パターン停止中	パターン番号	パターン番号	パターン番号
パターン再生中	現在位置(小節 / 拍)	現在位置(小節 / 拍)	パターン番号
パターン切り替え時	新規パターン番号を1秒程度表示	現在位置(小節 / 拍)	パターン番号

## ■ メモリ残量を表示する(PATTERN) ソングモードのみ

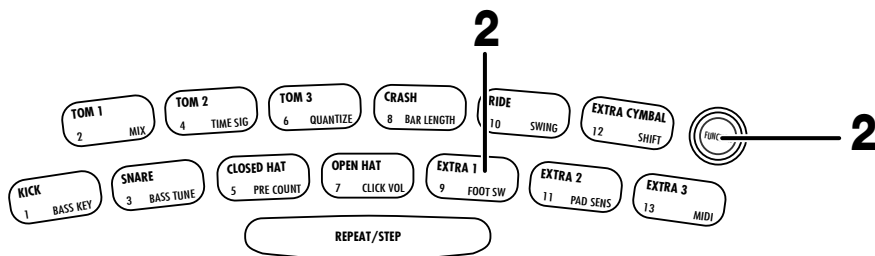
ソングモードで[FUNCTION]キー [PATTERN]キーの順に押すと、使用可能なメモリの残量がパーセント単位で表示されます。この数値は表示のみで、変更することはできません。もう一度[FUNCTION]を押すと、ソングモードに戻ります。

# RT-123の応用例

ここではRT-123をオプションや外部機器と組み合わせた場合の応用例を紹介します。

## FS01でRT-123をコントロールする

リアパネルの[FOOT SW]端子に別売のペダルスイッチ(FS01)を接続すると、バスドラムのように足元で音を鳴らしたり、ハイハットのクローズとオープンのように足元で音色を切り替えながら演奏することができます。また、RT-123の再生/停止を足元でコントロールできます。



**操作1** FS01をリアパネルの[FOOT SW]端子に接続してください。

接続方法は7ページをご参照ください。

**操作2** [FUNCTION]キーとパッド9(FOOT SW)を使って、FS01の機能を選択してください。

選択方法は47ページをご参照ください。

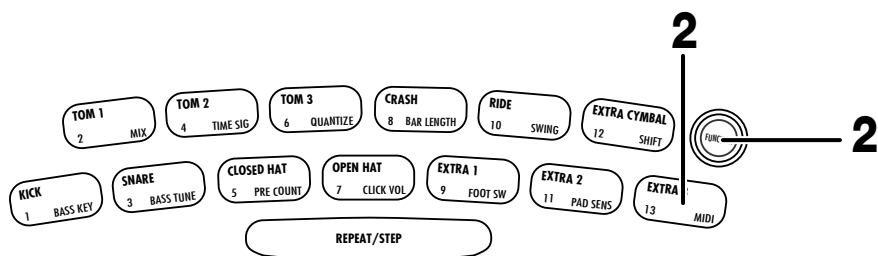


**操作3** パターンモードまたはプレイモードでFS01を操作してください。

操作2で選んだ機能に応じて、FS01で特定のパッドの音色を鳴らしたり、パッドの音色を切り替えたり、パターン/ソングの再生/停止を操作できます。詳しくは47～48ページをご参照ください。

## MIDI機器と同期演奏させる

RT-123とMIDI端子を装備しているシーケンサーやリズムマシンとの同期演奏ができます。同期演奏の場合は、外部シーケンサー側で決められたテンポに合わせてRT-123のパターンやソングが再生されます。



- 操作 1** MIDIシーケンサーやリズムマシンなどのMIDI機器のMIDI OUT端子と、RT-123の[MIDI IN]端子をMIDIケーブルで接続してください。

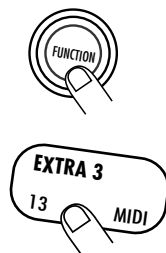
接続方法は7ページをご参照ください。



外部MIDIシーケンサーが、MIDIクロック、スタート、ストップ、コンティニューを送信可能な状態にあることを確認してください。

- 操作 2** [FUNCTION]キーとパッド13(MIDI)を使って、RT-123がMIDIクロックその他のメッセージを受信できるように設定してください。

設定方法は49ページをご参照ください。

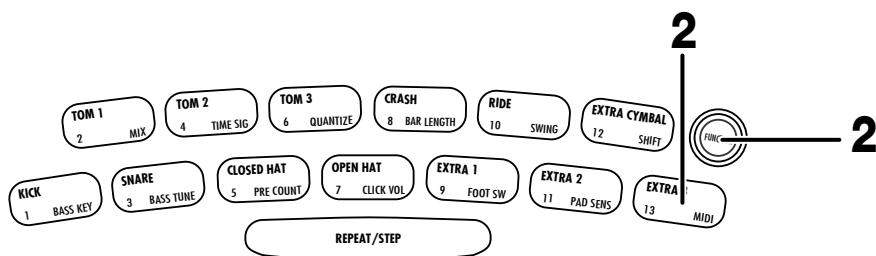


- 操作 3** 外部MIDIシーケンサーをスタートしてください。

RT-123が外部MIDIシーケンサーに追従して再生します。

## MIDI機器からRT-123の音を鳴らす

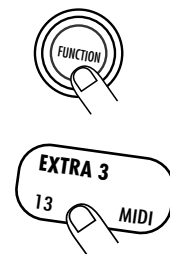
外部MIDIシーケンサーやMIDIキーボードなどで、RT-123の内蔵音源を鳴らすことができます。



**操作 1** MIDIシーケンサーなどMIDI機器のMIDI OUT端子と、RT-123の[MIDI IN]端子をMIDIケーブルで接続してください。

**操作 2** [FUNCTION]キーとパッド13(MIDI)を使って、RT-123の各トラックの受信MIDIチャンネルを、外部MIDI機器の送信MIDIチャンネルに合わせてください。

トラックごとのMIDIチャンネルの設定方法は49ページをご参照ください。



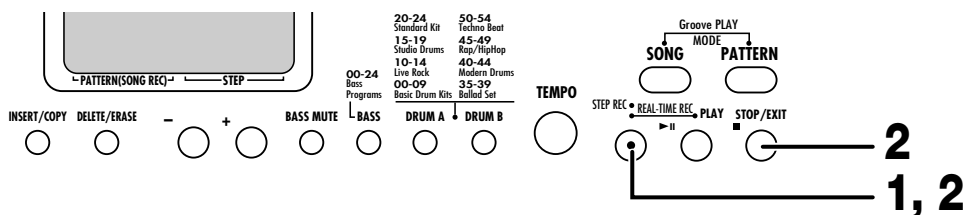
**操作 3** 外部MIDIシーケンサーやキーボードを演奏してください。

[MIDI IN]端子に入力されたノートナンバーに応じてRT-123の音が鳴ります。

また、プログラムチェンジでRT-123のドラムキットやベースプログラムを切り替えることも可能です。プログラムチェンジナンバーとドラムキット/ベースプログラムの割り当ては、巻末の資料をご参照ください。

## RT-123を工場出荷時の状態に戻す(イニシャライズ)

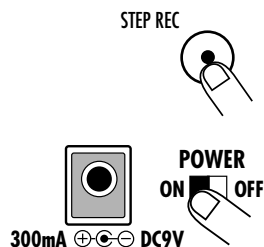
RT-123に記録されているすべてのデータを、初期化(工場出荷時の状態に戻す)します。イニシャライズを実行すると、新たに記録したパターンやソングの内容は消去されてしまいますので、ご注意ください。



イニシャライズを実行すると、ユーザーパターンU01～U99はすべて空になります。

### 操作1 [REC]キーを押したままRT-123の電源を入れてください。

ディスプレイに“Init”という文字が点滅した状態で表示されます。



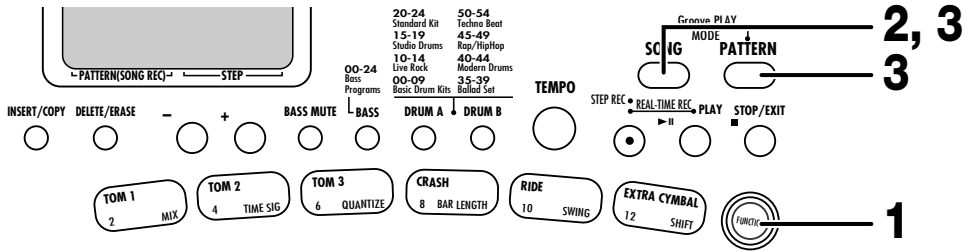
### 操作2 イニシャライズを実行する場合はもう一度[REC]キーを、取り消す場合は[STOP/EXIT]キーを押してください。

イニシャライズを実行した場合には、内部のデータが工場出荷時の状態に戻り、RT-123が再起動します。

取り消した場合には、通常電源を入れたときと同じ状態でRT-123が起動します。



## デモ演奏を聴くには



**操作 1** [FUNCTION]キーを押してください。

[FUNCTION]キーのLEDが点滅します。



**操作 2** [SONG]キーを押してください。

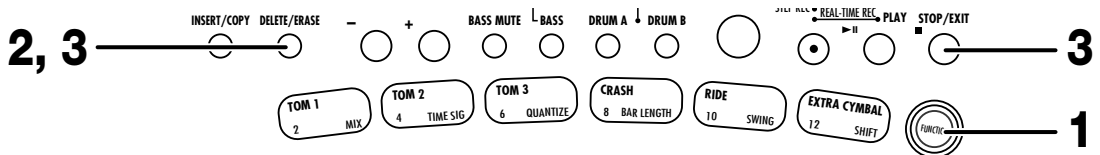
デモ演奏が始まります。デモ演奏は停止しない限り、繰り返し演奏されます。



**操作 3** デモ演奏を止めるには、[SONG]キーまたは[PATTERN]キーを押してください。

[SONG]キーを押せばソングモード、[PATTERN]キーを押せばパターンモードになります。

## ユーザーパターンをすべて消去する



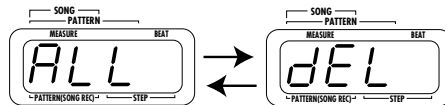
**操作 1** [FUNCTION]キーを押してください。

[FUNCTION]キーのLEDが点滅します。



**操作 2** [DELETE/ERASE]キーを推してください。

ディスプレイに"dEL"と"ALL"の文字が交互に表示されます。



**操作 3** 消去を実行するには[DELETE/ERASE]キー、取り消すには[STOP/EXIT]キーを押してください。

[DELETE/ERASE]キーを押すと、ユーザーパターンU01 ~ U99がすべて消去されます。

# 故障かな？と思われる前に

RT-123の動作がおかしいと感じられた場合は、まずつぎの項目を確認してください

症状	確認	対策
音が出ない、 もしくは非常に小さい	適切なACアダプターが正しく接続されていますか？	「接続しましょう」の説明(7ページ)に従って、ACアダプターを本機に正しく接続してください。本機に付属のACアダプターのみをご使用ください。
	[OUTPUT]端子と再生装置が正しく接続されていますか？	「接続しましょう」の説明(7ページ)に従って正しく接続してください。
	ご使用のシールドケーブルは正常ですか？	他のシールドケーブルに交換してみてください。
	接続している再生装置は正常に動作していますか？ ボリュームは適切ですか？	各装置の動作を確認して、適切な音量に調節してください。
	RT-123のボリュームは適切ですか？	[VOLUME]コントロールを適切な音量になるように調節してください。
音が歪む、割れる	RT-123の出力信号が大きすぎませんか？	RT-123の[VOLUME]コントロールを適切な音量になるように調節してください。
ソングに記録できない	ソングモード以外のモードが選ばれていませんか？	ソングモードを選んでください(36ページ)。
	メモリーを使い切っていませんか？	不要なパターンやソングを消去してください。
FS01の効果がない	FS01が[FOOT SW]端子に正しく接続されていますか？	「接続しましょう」の説明(7ページ)に従って、正しく接続してください。
	FS01の機能が有効になるように設定しましたか？	[FUNCTION]キーとパッド9(FOOT SW)を使って設定してください(47ページ)。
MIDI機器と同期演奏ができない	MIDI受信がオンになっていますか？	[FUNCTION]キーとパッド13(MIDI)を使って Int (MIDIクロックを受信しない)から“ Midi (MIDIクロックを受信する)に切り替えてください。



# 製品仕様

ドラムキット:	80 (パーカッション、SFXセットを含む)
ベースプログラム:	25
リズムパターン:	プリセット; 297 / ユーザー; 99
ソング:	99 ソング
最大記憶音数:	10,000音
最大同時発音数:	30音
分解能:	96クロック / 4分音符
テンポ:	40 ~ 250 BPM
パッド:	13 (ペロシティーセンス付)
外部コントロール端子:	MIDI IN, FS01用コントロール
ディスプレイ:	4桁7セグメントLED
インプットライン;	標準フォーンジャック (モノ) × 1, インピーダンス 33k
アウトプット:	ライン (L/Mono, R); 標準フォーンジャック (モノ) × 2, インピーダンス 2.2k 以下 ヘッドフォン; ミニフォーンジャック (ステレオ) × 1, 出力電力 50mW (32 出力負荷時)
電源:	9V DC/300mA (専用ACアダプター AD-0006A付属)
外形寸法:	196(W) × 158(D) × 35(H)mm
重量:	550g
アクセサリ:	フットスイッチFS01

製品の仕様及び外観は改良のため予告なく変更することがあります。

# 資料

## MIDI プログラムチェンジ対応表 (ドラムキット)

PC	KIT	
0	9	General Drum
1	55	General Drum 1
2	0	Live Rock
3	1	Studio
4	2	Standard
5	3	Funk Trap
6	4	Epic Rock
7	5	Ballad
8	57	General Drum 3
9	6	Modern
10	7	Rap/HipHop
11	8	Techno Beat
12	9	General Drum
13	10	Live Rock 1
14	11	Live Rock 2
15	12	Live Rock 3
16	58	General Drum 4
17	13	Live Rock 4
18	14	Live Rock 5
19	15	Studio 1
20	16	Studio 2
21	17	Studio 3
22	18	Studio 4
23	19	Studio 5
24	59	General Drum 5
25	61	General Drum 7
26	62	General Drum 8
27	20	Standard 1
28	21	Standard 2
29	22	Standard 3
30	23	Standard 4
31	24	Standard 5
32	9	General Drum
33	25	Funk Trap 1
34	26	Funk Trap 2
35	27	Funk Trap 3
36	28	Funk Trap 4
37	29	Funk Trap 5
38	30	Epic Rock 1
39	31	Epic Rock 2
40	63	General Drum 9
41	32	Epic Rock 3
42	33	Epic Rock 4

PC	KIT	
43	34	Epic Rock 5
44	35	Ballad 1
45	36	Ballad 2
46	37	Ballad 3
47	38	Ballad 4
48	39	Ballad 5
49	40	Modern 1
50	78	Kick and Snare 1
51	41	Modern 2
52	42	Modern 3
53	43	Modern 4
54	44	Modern 5
55	45	Rap/HipHop 1
56	64	Effected Drum
57	64	Effected Drum
58	46	Rap/HipHop 2
59	47	Rap/HipHop 3
60	48	Rap/HipHop 4
61	49	Rap/HipHop 5
62	50	Techno Beat 1
63	51	Techno Beat 2
64	52	Techno Beat 3
65	53	Techno Beat 4
66	54	Techno Beat 5
67	55	General Drum 1
68	56	General Drum 2
69	57	General Drum 3
70	58	General Drum 4
71	59	General Drum 5
72	60	General Drum 6
73	61	General Drum 7
74	62	General Drum 8
75	63	General Drum 9
76	64	Effected Drum
77	65	Drum Skins
78	66	Lo Percussion
79	67	Hi Percussion
80	68	Clicks and Sticks
81	69	Single Percussion
82	70	Agogo Gamelan
83	71	Percussion/SFX
84	72	Various Percussion 1
85	73	Various Percussion 2

PC	KIT	
86	74	Various Percussion 3
87	75	Various Percussion 4
88	76	Various Percussion 5
89	77	Cymbal Set
90	78	Kick and Snare 1
91	79	Kick and Snare 2
92	0	Live Rock
93	1	Studio
94	2	Standard
95	3	Funk Trap
96	4	Epic Rock
97	5	Ballad
98	6	Modern
99	7	Rap/HipHop
100	8	Techno Beat
101	9	General Drum
102	10	Live Rock 1
103	11	Live Rock 2
104	12	Live Rock 3
105	13	Live Rock 4
106	14	Live Rock 5
107	15	Studio 1
108	16	Studio 2
109	17	Studio 3
110	18	Studio 4
111	19	Studio 5
112	20	Standard 1
113	21	Standard 2
114	22	Standard 3
115	23	Standard 4
116	24	Standard 5
117	25	Funk Trap 1
118	26	Funk Trap 2
119	27	Funk Trap 3
120	28	Funk Trap 4
121	29	Funk Trap 5
122	30	Epic Rock 1
123	31	Epic Rock 2
124	32	Epic Rock 3
125	33	Epic Rock 4
126	34	Epic Rock 5
127	9	General Drum

MIDI プログラムチェンジ対応表 (ベースプログラム)

PC	KIT	
0	0	Live Bass
1	1	Studio Bass
2	2	Epic Bass
3	3	Funk Bass
4	4	Ballad Bass
5	5	Acoustic Bass
6	6	Modern Bass
7	7	Synth Bass
8	8	Techno Bass
9	9	Big Bottom Bass
10	10	SubSlap Bass
11	11	Digital Acoustic
12	12	Bass Harmonics
13	13	No Frets
14	14	Acoustic Jazz
15	15	Digital Pick
16	16	Techno Analog
17	17	Analog Touch
18	18	Lo Sine
19	19	Harmonics Bass
20	20	Saw Wave
21	21	Square Wave
22	22	Hi Sine
23	23	Drive Bass
24	24	Fuzz Bass
25	0	Live Bass
26	1	Studio Bass
27	2	Epic Bass
28	3	Funk Bass
29	4	Ballad Bass
30	5	Acoustic Bass
31	6	Modern Bass
32	5	Acoustic Bass
33	14	Acoustic Jazz
34	1	Studio Bass
35	13	No Frets
36	3	Funk Bass
37	10	SubSlap Bass
38	7	Synth Bass
39	8	Techno Bass
40	7	Synth Bass
41	8	Techno Bass
42	9	Big Bottom Bass

PC	KIT	
43	10	SubSlap Bass
44	11	Digital Acoustic
45	12	Bass Harmonics
46	13	No Frets
47	14	Acoustic Jazz
48	15	Digital Pick
49	16	Techno Analog
50	17	Analog Touch
51	18	Lo Sine
52	19	Harmonics Bass
53	20	Saw Wave
54	21	Square Wave
55	22	Hi Sine
56	23	Drive Bass
57	24	Fuzz Bass
58	0	Live Bass
59	1	Studio Bass
60	2	Epic Bass
61	3	Funk Bass
62	4	Ballad Bass
63	5	Acoustic Bass
64	6	Modern Bass
65	7	Synth Bass
66	8	Techno Bass
67	9	Big Bottom Bass
68	10	SubSlap Bass
69	11	Digital Acoustic
70	12	Bass Harmonics
71	13	No Frets
72	14	Acoustic Jazz
73	15	Digital Pick
74	16	Techno Analog
75	17	Analog Touch
76	18	Lo Sine
77	19	Harmonics Bass
78	20	Saw Wave
79	21	Square Wave
80	22	Hi Sine
81	23	Drive Bass
82	24	Fuzz Bass
83	0	Live Bass
84	1	Studio Bass
85	2	Epic Bass

PC	KIT	
86	3	Funk Bass
87	4	Ballad Bass
88	5	Acoustic Bass
89	6	Modern Bass
90	7	Synth Bass
91	8	Techno Bass
92	9	Big Bottom Bass
93	10	SubSlap Bass
94	11	Digital Acoustic
95	12	Bass Harmonics
96	13	No Frets
97	14	Acoustic Jazz
98	15	Digital Pick
99	16	Techno Analog
100	17	Analog Touch
101	18	Lo Sine
102	19	Harmonics Bass
103	20	Saw Wave
104	21	Square Wave
105	22	Hi Sine
106	23	Drive Bass
107	24	Fuzz Bass
108	0	Live Bass
109	1	Studio Bass
110	2	Epic Bass
111	3	Funk Bass
112	4	Ballad Bass
113	5	Acoustic Bass
114	6	Modern Bass
115	7	Synth Bass
116	8	Techno Bass
117	9	Big Bottom Bass
118	10	SubSlap Bass
119	11	Digital Acoustic
120	12	Bass Harmonics
121	13	No Frets
122	14	Acoustic Jazz
123	15	Digital Pick
124	16	Techno Analog
125	17	Analog Touch
126	18	Lo Sine
127	19	Harmonics Bass

ドラムキット

0	Live Rock
1	Studio
2	Standard
3	Funk Trap
4	Epic Rock
5	Ballad
6	Modern
7	Rap/HipHop
8	Techno Beat
9	General Drum
10	Live Rock 1
11	Live Rock 2
12	Live Rock 3
13	Live Rock 4
14	Live Rock 5
15	Studio 1
16	Studio 2
17	Studio 3
18	Studio 4
19	Studio 5
20	Standard 1
21	Standard 2
22	Standard 3
23	Standard 4
24	Standard 5
25	Funk Trap 1
26	Funk Trap 2
27	Funk Trap 3
28	Funk Trap 4
29	Funk Trap 5
30	Epic Rock 1
31	Epic Rock 2
32	Epic Rock 3
33	Epic Rock 4
34	Epic Rock 5
35	Ballad 1
36	Ballad 2
37	Ballad 3
38	Ballad 4
39	Ballad 5

40	Modern 1
41	Modern 2
42	Modern 3
43	Modern 4
44	Modern 5
45	Rap/HipHop 1
46	Rap/HipHop 2
47	Rap/HipHop 3
48	Rap/HipHop 4
49	Rap/HipHop 5
50	Techno Beat 1
51	Techno Beat 2
52	Techno Beat 3
53	Techno Beat 4
54	Techno Beat 5
55	General Drum 1
56	General Drum 2
57	General Drum 3
58	General Drum 4
59	General Drum 5
60	General Drum 6
61	General Drum 7
62	General Drum 8
63	General Drum 9
64	Effected Drum
65	Drum Skins
66	Lo Percussion
67	Hi Percussion
68	Clicks and Sticks
69	Single Percussion
70	Agogo Gamelan
71	Percussion/SFX
72	Various Percussion 1
73	Various Percussion 2
74	Various Percussion 3
75	Various Percussion 4
76	Various Percussion 5
77	Cymbal Set
78	Kick and Snare 1
79	Kick and Snare 2

ベースプログラム

0	Live Bass
1	Studio Bass
2	Epic Bass
3	Funk Bass
4	Ballad Bass
5	Acoustic Bass
6	Modern Bass
7	Synth Bass
8	Techno Bass
9	Big Bottom Bass
10	SubSlap Bass
11	Digital Acoustic
12	Bass Harmonics
13	No Frets
14	Acoustic Jazz
15	Digital Pick
16	Techno Analog
17	Analog Touch
18	Lo Sine
19	Harmonics Bass
20	Saw Wave
21	Square Wave
22	Hi Sine
23	Drive Bass
24	Fuzz Bass

プリセットパターンリスト

No	Name	BPM	DrumA		DrumB		Bass	
A01	Rock01	130	0	Live Rock	-----	-----	0	Live Bass
A02	Rock02	136	0	Live Rock	10	Live Rock 1	3	Funk Bass
A03	Rock03	136	27	Funk Trap 3	79	Kick and Snare 2	23	Drive Bass
A04	Rock04	136	25	Funk Trap 1	-----	-----	1	Studio Bass
A05	Rock05	112	25	Funk Trap 1	25	Funk Trap 1	4	Ballad Bass
A06	Rock06	140	16	Studio 2	-----	-----	4	Ballad Bass
A07	Rock07	120	0	Live Rock	-----	-----	15	Digital Pick
A08	Rock08	120	0	Live Rock	25	Funk Trap 1	3	Funk Bass
A09	Rock09	120	22	Standard 3	67	Hi Percussion	4	Ballad Bass
A10	Rock10	92	0	Live Rock	25	Funk Trap 1	0	Live Bass
A11	Rock11	116	0	Live Rock	25	Funk Trap 1	0	Live Bass
A12	Rock12	96	23	Standard 4	11	Live Rock 2	4	Ballad Bass
A13	Rock13	96	0	Live Rock	-----	-----	4	Ballad Bass
A14	Rock14	111	23	Standard 4	-----	-----	4	Ballad Bass
A15	Rock15	103	0	Live Rock	-----	-----	0	Live Bass
A16	Rock16	120	41	Modern 2	21	Standard 2	5	Acoustic Bass
A17	Rock17	120	6	Modern	-----	-----	2	Epic Bass
A18	Rock18	99	3	Funk Trap	74	Various Percussion 3	5	Acoustic Bass
A19	Rock19	132	16	Studio 2	8	Techno Beat	23	Drive Bass
A20	Rock20	130	31	Epic Rock 2	2	Standard	4	Ballad Bass
A21	Rock21	96	43	Modern 4	9	General Drum	4	Ballad Bass
A22	Rock22	160	21	Standard 2	25	Funk Trap 1	1	Studio Bass
A23	Rock23	160	25	Funk Trap 1	25	Funk Trap 1	1	Studio Bass
A24	Rock24	120	23	Standard 4	25	Funk Trap 1	1	Studio Bass
A25	Rock25	100	13	Live Rock 4	74	Various Percussion 3	4	Ballad Bass
A26	Rock26	180	6	Modern	74	Various Percussion 3	13	No Frets
A27	Rock27	104	75	Various Percussion 4	20	Standard 1	4	Ballad Bass
A28	HardRock01	103	6	Modern	-----	-----	14	Acoustic Jazz
A29	HardRock02	121	0	Live Rock	-----	-----	4	Ballad Bass
A30	HardRock03	99	0	Live Rock	-----	-----	3	Funk Bass
A31	HardRock04	115	0	Live Rock	67	Hi Percussion	4	Ballad Bass
A32	HardRock05	121	0	Live Rock	-----	-----	0	Live Bass
A33	HardRock06	136	0	Live Rock	67	Hi Percussion	0	Live Bass
A34	HardRock07	120	0	Live Rock	76	Various Percussion 5	0	Live Bass
A35	HardRock08	79	0	Live Rock	66	Lo Percussion	11	Digital Acoustic
A36	Metal01	98	0	Live Rock	30	Epic Rock 1	0	Live Bass
A37	Metal02	100	3	Funk Trap	6	Modern	2	Epic Bass
A38	Metal03	100	31	Epic Rock 2	38	Ballad 4	0	Live Bass
A39	Metal04	103	32	Epic Rock 3	32	Epic Rock 3	23	Drive Bass
A40	Metal05	112	1	Studio	79	Kick and Snare 2	0	Live Bass
A41	Metal06	150	0	Live Rock	-----	-----	0	Live Bass
A42	Thrash01	166	30	Epic Rock 1	34	Epic Rock 5	4	Ballad Bass
A43	Thrash02	186	0	Live Rock	-----	-----	24	Fuzz Bass
A44	Thrash03	136	34	Epic Rock 5	30	Epic Rock 1	24	Fuzz Bass
A45	Thrash04	148	32	Epic Rock 3	34	Epic Rock 5	9	Big Bottom Bass
A46	Punk01	120	30	Epic Rock 1	-----	-----	0	Live Bass
A47	Punk02	160	14	Live Rock 5	-----	-----	0	Live Bass
A48	Punk03	158	25	Funk Trap 1	4	Epic Rock	24	Fuzz Bass
A49	Punk04	160	26	Funk Trap 2	1	Studio	4	Ballad Bass
A50	Fusion01	105	41	Modern 2	21	Standard 2	15	Digital Pick
A51	Fusion02	113	1	Studio	74	Various Percussion 3	5	Acoustic Bass
A52	Fusion03	120	20	Standard 1	74	Various Percussion 3	15	Digital Pick
A53	Fusion04	94	18	Studio 4	64	Effected Drum	1	Studio Bass
A54	Industry01	111	64	Effected Drum	76	Various Percussion 5	11	Digital Acoustic
A55	Industry02	129	32	Epic Rock 3	8	Techno Beat	11	Digital Acoustic
A56	Industry03	137	32	Epic Rock 3	8	Techno Beat	15	Digital Pick
A57	Industry04	120	32	Epic Rock 3	71	Percussion/SFX	9	Big Bottom Bass
A58	Pop01	100	18	Studio 4	-----	-----	4	Ballad Bass

A59	Pop02	124	3	Funk Trap	65	Drum Skins	4	Ballad Bass
A60	Pop03	132	17	Studio 3	-----	-----	0	Live Bass
A61	Pop04	112	2	Standard	67	Hi Percussion	0	Live Bass
A62	Pop05	104	25	Funk Trap 1	-----	-----	3	Funk Bass
A63	Pop06	80	67	Hi Percussion	2	Standard	5	Acoustic Bass
A64	Pop07	117	47	Rap/HipHop 3	67	Hi Percussion	4	Ballad Bass
A65	Pop08	106	22	Standard 3	41	Modern 2	-----	-----
A66	Pop09	100	26	Funk Trap 2	2	Standard	4	Ballad Bass
A67	Pop10	124	35	Ballad 1	67	Hi Percussion	4	Ballad Bass
A68	Pop11	110	16	Studio 2	-----	-----	1	Studio Bass
A69	Pop12	120	16	Studio 2	31	Epic Rock 2	4	Ballad Bass
A70	Pop13	110	20	Standard 1	24	Standard 5	2	Epic Bass
A71	R&B01	138	26	Funk Trap 2	9	General Drum	18	Lo Sine
A72	R&B02	100	20	Standard 1	67	Hi Percussion	0	Live Bass
A73	R&B03	120	25	Funk Trap 1	-----	-----	0	Live Bass
A74	R&B04	116	23	Standard 4	65	Drum Skins	4	Ballad Bass
A75	R&B05	120	45	Rap/HipHop 1	-----	-----	3	Funk Bass
A76	R&B06	96	28	Funk Trap 4	65	Drum Skins	4	Ballad Bass
A77	R&B07	168	26	Funk Trap 2	25	Funk Trap 1	0	Live Bass
A78	R&B08	100	25	Funk Trap 1	67	Hi Percussion	3	Funk Bass
A79	R&B09	120	3	Funk Trap	-----	-----	2	Epic Bass
A80	R&B10	146	20	Standard 1	0	Live Rock	0	Live Bass
A81	R&B11	112	25	Funk Trap 1	-----	-----	6	Modern Bass
A82	R&B12	114	45	Rap/HipHop 1	69	Single Percussion	18	Lo Sine
A83	R&B13	90	46	Rap/HipHop 2	69	Single Percussion	17	Analog Touch
A84	Funk01	112	2	Standard	3	Funk Trap	3	Funk Bass
A85	Funk02	120	27	Funk Trap 3	-----	-----	3	Funk Bass
A86	Funk03	120	41	Modern 2	2	Standard	3	Funk Bass
A87	Funk04	112	28	Funk Trap 4	2	Standard	3	Funk Bass
A88	Funk05	121	3	Funk Trap	47	Rap/HipHop 3	3	Funk Bass
A89	Funk06	120	27	Funk Trap 3	-----	-----	4	Ballad Bass
A90	Funk07	98	28	Funk Trap 4	10	Live Rock 1	8	Techno Bass
A91	Funk08	94	29	Funk Trap 5	67	Hi Percussion	3	Funk Bass
A92	Funk09	100	25	Funk Trap 1	65	Drum Skins	0	Live Bass
A93	Funk10	92	26	Funk Trap 2	65	Drum Skins	9	Big Bottom Bass
A94	Funk11	112	2	Standard	3	Funk Trap	10	SubSlap Bass
A95	Funk12	99	22	Standard 3	68	Clicks and Sticks	5	Acoustic Bass
A96	Funk13	125	49	Rap/HipHop 5	71	Percussion/SFX	18	Lo Sine
A97	Funk14	92	27	Funk Trap 3	6	Modern	10	SubSlap Bass
A98	Funk15	100	21	Standard 2	67	Hi Percussion	18	Lo Sine
A99	Funk16	114	75	Various Percussion 4	7	Rap/HipHop	17	Analog Touch
B01	RapHipHop01	110	46	Rap/HipHop 2	11	Live Rock 2	18	Lo Sine
B02	RapHipHop02	96	40	Modern 1	77	Cymbal Set	18	Lo Sine
B03	RapHipHop03	102	7	Rap/HipHop	67	Hi Percussion	17	Analog Touch
B04	RapHipHop04	112	3	Funk Trap	-----	-----	14	Acoustic Jazz
B05	RapHipHop05	86	48	Rap/HipHop 4	47	Rap/HipHop 3	8	Techno Bass
B06	RapHipHop06	96	21	Standard 2	67	Hi Percussion	10	SubSlap Bass
B07	RapHipHop07	99	52	Techno Beat 3	24	Standard 5	4	Ballad Bass
B08	RapHipHop08	112	3	Funk Trap	7	Rap/HipHop	5	Acoustic Bass
B09	RapHipHop09	100	7	Rap/HipHop	-----	-----	17	Analog Touch
B10	RapHipHop10	112	7	Rap/HipHop	2	Standard	18	Lo Sine
B11	RapHipHop11	91	8	Techno Beat	2	Standard	0	Live Bass
B12	RapHipHop12	112	3	Funk Trap	2	Standard	4	Ballad Bass
B13	RapHipHop13	112	2	Standard	7	Rap/HipHop	4	Ballad Bass
B14	RapHipHop14	104	62	General Drum 8	67	Hi Percussion	18	Lo Sine
B15	RapHipHop15	112	6	Modern	5	Ballad	4	Ballad Bass
B16	RapHipHop16	88	0	Live Rock	3	Funk Trap	5	Acoustic Bass
B17	RapHipHop17	103	64	Effected Drum	69	Single Percussion	16	Techno Analog
B18	RapHipHop18	93	47	Rap/HipHop 3	20	Standard 1	18	Lo Sine
B19	RapHipHop19	92	7	Rap/HipHop	70	Agogo Gamelan	5	Acoustic Bass
B20	RapHipHop20	84	47	Rap/HipHop 3	31	Epic Rock 2	4	Ballad Bass

B21	RapHipHop21	99	47	Rap/HipHop 3	67	Hi Percussion	4	Ballad Bass
B22	RapHipHop22	88	13	Live Rock 4	8	Techno Beat	4	Ballad Bass
B23	RapHipHop23	88	13	Live Rock 4	47	Rap/HipHop 3	4	Ballad Bass
B24	RapHipHop24	102	51	Techno Beat 2	49	Rap/HipHop 5	18	Lo Sine
B25	RapHipHop25	90	3	Funk Trap	65	Drum Skins	11	Digital Acoustic
B26	RapHipHop26	85	8	Techno Beat	71	Percussion/SFX	18	Lo Sine
B27	RapHipHop27	96	10	Live Rock 1	67	Hi Percussion	8	Techno Bass
B28	RapHipHop28	96	0	Live Rock	71	Percussion/SFX	18	Lo Sine
B29	RapHipHop29	87	62	General Drum 8	71	Percussion/SFX	17	Analog Touch
B30	RapHipHop30	116	59	General Drum 5	-----	-----	17	Analog Touch
B31	RapHipHop31	136	7	Rap/HipHop	69	Single Percussion	17	Analog Touch
B32	RapHipHop32	148	51	Techno Beat 2	2	Standard	17	Analog Touch
B33	RapHipHop33	103	2	Standard	3	Funk Trap	5	Acoustic Bass
B34	RapHipHop34	107	3	Funk Trap	67	Hi Percussion	5	Acoustic Bass
B35	RapHipHop35	120	45	Rap/HipHop 1	27	Funk Trap 3	8	Techno Bass
B36	Dance01	111	8	Techno Beat	2	Standard	8	Techno Bass
B37	Dance02	120	2	Standard	6	Modern	4	Ballad Bass
B38	Dance03	102	26	Funk Trap 2	47	Rap/HipHop 3	4	Ballad Bass
B39	Dance04	107	50	Techno Beat 1	47	Rap/HipHop 3	17	Analog Touch
B40	Dance05	107	50	Techno Beat 1	48	Rap/HipHop 4	17	Analog Touch
B41	Dance06	122	8	Techno Beat	74	Various Percussion 3	8	Techno Bass
B42	Dance07	120	8	Techno Beat	68	Clicks and Sticks	3	Funk Bass
B43	Dance08	180	45	Rap/HipHop 1	74	Various Percussion 3	18	Lo Sine
B44	Dance09	103	43	Modern 4	67	Hi Percussion	18	Lo Sine
B45	Dance10	137	45	Rap/HipHop 1	-----	-----	18	Lo Sine
B46	Dance11	120	6	Modern	67	Hi Percussion	10	SubSlap Bass
B47	Dance12	100	41	Modern 2	76	Various Percussion 5	8	Techno Bass
B48	House01	122	45	Rap/HipHop 1	22	Standard 3	17	Analog Touch
B49	House02	120	45	Rap/HipHop 1	73	Various Percussion 2	18	Lo Sine
B50	House03	120	53	Techno Beat 4	71	Percussion/SFX	16	Techno Analog
B51	House04	126	45	Rap/HipHop 1	68	Clicks and Sticks	18	Lo Sine
B52	House05	120	40	Modern 1	76	Various Percussion 5	8	Techno Bass
B53	House06	120	50	Techno Beat 1	8	Techno Beat	8	Techno Bass
B54	House07	120	41	Modern 2	68	Clicks and Sticks	7	Synth Bass
B55	House08	126	59	General Drum 5	68	Clicks and Sticks	18	Lo Sine
B56	Techno01	148	46	Rap/HipHop 2	50	Techno Beat 1	20	Saw Wave
B57	Techno02	125	8	Techno Beat	54	Techno Beat 5	17	Analog Touch
B58	Techno03	125	8	Techno Beat	54	Techno Beat 5	17	Analog Touch
B59	Techno04	160	49	Rap/HipHop 5	51	Techno Beat 2	8	Techno Bass
B60	Techno05	138	51	Techno Beat 2	68	Clicks and Sticks	18	Lo Sine
B61	Techno06	164	7	Rap/HipHop	68	Clicks and Sticks	18	Lo Sine
B62	Techno07	118	6	Modern	8	Techno Beat	17	Analog Touch
B63	Techno08	126	54	Techno Beat 5	46	Rap/HipHop 2	18	Lo Sine
B64	Techno09	140	45	Rap/HipHop 1	68	Clicks and Sticks	18	Lo Sine
B65	Techno10	136	45	Rap/HipHop 1	68	Clicks and Sticks	18	Lo Sine
B66	Techno11	120	49	Rap/HipHop 5	71	Percussion/SFX	18	Lo Sine
B67	Techno12	119	30	Epic Rock 1	52	Techno Beat 3	17	Analog Touch
B68	Techno13	127	59	General Drum 5	67	Hi Percussion	22	Hi Sine
B69	Techno14	170	61	General Drum 7	71	Percussion/SFX	17	Analog Touch
B70	Techno15	120	51	Techno Beat 2	46	Rap/HipHop 2	2	Epic Bass
B71	Drum&Bass01	150	45	Rap/HipHop 1	46	Rap/HipHop 2	18	Lo Sine
B72	Drum&Bass02	150	26	Funk Trap 2	7	Rap/HipHop	18	Lo Sine
B73	Drum&Bass03	158	46	Rap/HipHop 2	78	Kick and Snare 1	5	Acoustic Bass
B74	Drum&Bass04	166	60	General Drum 6	61	General Drum 7	18	Lo Sine
B75	Drum&Bass05	164	45	Rap/HipHop 1	67	Hi Percussion	18	Lo Sine
B76	Drum&Bass06	144	7	Rap/HipHop	8	Techno Beat	18	Lo Sine
B77	Drum&Bass07	154	7	Rap/HipHop	2	Standard	18	Lo Sine
B78	Drum&Bass08	154	29	Funk Trap 5	65	Drum Skins	18	Lo Sine
B79	Drum&Bass09	154	25	Funk Trap 1	50	Techno Beat 1	5	Acoustic Bass
B80	Drum&Bass10	150	23	Standard 4	20	Standard 1	14	Acoustic Jazz
B81	Drum&Bass11	160	23	Standard 4	50	Techno Beat 1	11	Digital Acoustic

B82	Jungle01	160	45	Rap/HipHop 1	62	General Drum 8	18	Lo Sine
B83	Jungle02	163	61	General Drum 7	66	Lo Percussion	18	Lo Sine
B84	Jungle03	172	41	Modern 2	65	Drum Skins	18	Lo Sine
B85	TripHop01	120	45	Rap/HipHop 1	46	Rap/HipHop 2	5	Acoustic Bass
B86	TripHop02	75	63	General Drum 9	67	Hi Percussion	14	Acoustic Jazz
B87	TripHop03	152	47	Rap/HipHop 3	71	Percussion/SFX	5	Acoustic Bass
B88	TripHop04	83	46	Rap/HipHop 2	7	Rap/HipHop	18	Lo Sine
B89	TripHop05	110	67	Hi Percussion	47	Rap/HipHop 3	8	Techno Bass
B90	TripHop06	101	41	Modern 2	49	Rap/HipHop 5	4	Ballad Bass
B91	TripHop07	101	61	General Drum 7	66	Lo Percussion	13	No Frets
B92	TripHop08	73	44	Modern 5	67	Hi Percussion	10	SubSlap Bass
B93	TripHop09	97	64	Effectuated Drum	66	Lo Percussion	4	Ballad Bass
B94	Ambient01	112	1	Studio	7	Rap/HipHop	18	Lo Sine
B95	Ambient02	98	60	General Drum 6	68	Clicks and Sticks	4	Ballad Bass
B96	Ambient03	157	46	Rap/HipHop 2	46	Rap/HipHop 2	18	Lo Sine
B97	Ambient04	94	46	Rap/HipHop 2	46	Rap/HipHop 2	17	Analog Touch
B98	Ambient05	89	7	Rap/HipHop	-----	-----	18	Lo Sine
B99	Ambient06	96	7	Rap/HipHop	-----	-----	8	Techno Bass
C01	Ballad01	76	5	Ballad	25	Funk Trap 1	4	Ballad Bass
C02	Ballad02	75	21	Standard 2	77	Cymbal Set	4	Ballad Bass
C03	Ballad03	65	5	Ballad	77	Cymbal Set	4	Ballad Bass
C04	Ballad04	152	0	Live Rock	60	General Drum 6	18	Lo Sine
C05	Ballad05	65	5	Ballad	20	Standard 1	4	Ballad Bass
C06	Ballad06	108	21	Standard 2	78	Kick and Snare 1	0	Live Bass
C07	Ballad07	99	2	Standard	3	Funk Trap	4	Ballad Bass
C08	Ballad08	80	13	Live Rock 4	26	Funk Trap 2	13	No Frets
C09	Ballad09	75	30	Epic Rock 1	-----	-----	4	Ballad Bass
C10	Blues01	120	3	Funk Trap	-----	-----	4	Ballad Bass
C11	Blues02	72	23	Standard 4	2	Standard	4	Ballad Bass
C12	Blues03	120	3	Funk Trap	-----	-----	4	Ballad Bass
C13	Blues04	111	0	Live Rock	67	Hi Percussion	4	Ballad Bass
C14	Blues05	120	3	Funk Trap	-----	-----	4	Ballad Bass
C15	Blues06	111	24	Standard 5	37	Ballad 3	4	Ballad Bass
C16	Blues07	64	35	Ballad 1	19	Studio 5	9	Big Bottom Bass
C17	Triple01	126	20	Standard 1	-----	-----	5	Acoustic Bass
C18	Triple02	102	1	Studio	-----	-----	4	Ballad Bass
C19	Triple03	94	67	Hi Percussion	2	Standard	5	Acoustic Bass
C20	Triple04	105	1	Studio	4	Epic Rock	2	Epic Bass
C21	Triple05	140	14	Live Rock 5	-----	-----	4	Ballad Bass
C22	Country01	120	23	Standard 4	-----	-----	4	Ballad Bass
C23	Country02	120	16	Studio 2	78	Kick and Snare 1	5	Acoustic Bass
C24	Country03	95	2	Standard	-----	-----	4	Ballad Bass
C25	Country04	115	63	General Drum 9	-----	-----	0	Live Bass
C26	Country05	96	20	Standard 1	65	Drum Skins	5	Acoustic Bass
C27	Country06	100	2	Standard	-----	-----	4	Ballad Bass
C28	Jazz01	125	3	Funk Trap	74	Various Percussion 3	5	Acoustic Bass
C29	Jazz02	121	3	Funk Trap	-----	-----	5	Acoustic Bass
C30	Jazz03	94	3	Funk Trap	74	Various Percussion 3	5	Acoustic Bass
C31	Jazz04	100	2	Standard	71	Percussion/SFX	4	Ballad Bass
C32	Jazz05	123	3	Funk Trap	67	Hi Percussion	4	Ballad Bass
C33	Jazz06	123	23	Standard 4	72	Various Percussion 1	5	Acoustic Bass
C34	Shuffle01	125	3	Funk Trap	-----	-----	4	Ballad Bass
C35	Shuffle02	120	0	Live Rock	25	Funk Trap 1	11	Digital Acoustic
C36	Shuffle03	122	26	Funk Trap 2	20	Standard 1	17	Analog Touch
C37	Shuffle04	120	23	Standard 4	65	Drum Skins	1	Studio Bass
C38	Ska01	160	25	Funk Trap 1	73	Various Percussion 2	4	Ballad Bass
C39	Ska02	141	2	Standard	3	Funk Trap	0	Live Bass
C40	Ska03	160	21	Standard 2	67	Hi Percussion	14	Acoustic Jazz
C41	Ska04	150	3	Funk Trap	-----	-----	11	Digital Acoustic
C42	Ska05	130	3	Funk Trap	66	Lo Percussion	4	Ballad Bass
C43	Reggae01	150	25	Funk Trap 1	73	Various Percussion 2	4	Ballad Bass



C44	Reggae02	160	23	Standard 4	67	Hi Percussion	5	Acoustic Bass
C45	Reggae03	132	25	Funk Trap 1	67	Hi Percussion	4	Ballad Bass
C46	Reggae04	118	21	Standard 2	16	Studio 2	4	Ballad Bass
C47	Reggae05	161	3	Funk Trap	-----	-----	4	Ballad Bass
C48	Reggae06	129	3	Funk Trap	74	Various Percussion 3	5	Acoustic Bass
C49	Reggae07	149	56	General Drum 2	67	Hi Percussion	18	Lo Sine
C50	Reggae08	71	41	Modern 2	67	Hi Percussion	17	Analog Touch
C51	Afro01	98	73	Various Percussion 2	66	Lo Percussion	13	No Frets
C52	Afro02	142	41	Modern 2	21	Standard 2	4	Ballad Bass
C53	Afro03	97	25	Funk Trap 1	65	Drum Skins	3	Funk Bass
C54	Afro04	115	25	Funk Trap 1	66	Lo Percussion	3	Funk Bass
C55	Afro05	111	25	Funk Trap 1	65	Drum Skins	2	Epic Bass
C56	Afro06	106	22	Standard 3	73	Various Percussion 2	3	Funk Bass
C57	Afro07	95	29	Funk Trap 5	67	Hi Percussion	6	Modern Bass
C58	Afro08	92	67	Hi Percussion	66	Lo Percussion	4	Ballad Bass
C59	Afro09	115	66	Lo Percussion	78	Kick and Snare 1	18	Lo Sine
C60	Afro10	123	3	Funk Trap	66	Lo Percussion	4	Ballad Bass
C61	Afro11	116	48	Rap/HipHop 4	66	Lo Percussion	18	Lo Sine
C62	Afro12	106	67	Hi Percussion	66	Lo Percussion	5	Acoustic Bass
C63	Latin01	118	21	Standard 2	74	Various Percussion 3	4	Ballad Bass
C64	Latin02	150	3	Funk Trap	2	Standard	5	Acoustic Bass
C65	Latin03	104	25	Funk Trap 1	71	Percussion/SFX	4	Ballad Bass
C66	Latin04	106	65	Drum Skins	67	Hi Percussion	11	Digital Acoustic
C67	Latin05	100	6	Modern	74	Various Percussion 3	14	Acoustic Jazz
C68	Latin06	100	65	Drum Skins	67	Hi Percussion	5	Acoustic Bass
C69	Latin07	120	16	Studio 2	2	Standard	5	Acoustic Bass
C70	Latin08	78	76	Various Percussion 5	73	Various Percussion 2	4	Ballad Bass
C71	Latin09	110	25	Funk Trap 1	65	Drum Skins	3	Funk Bass
C72	Latin10	88	72	Various Percussion 1	74	Various Percussion 3	4	Ballad Bass
C73	Latin11	141	22	Standard 3	74	Various Percussion 3	4	Ballad Bass
C74	Latin12	109	1	Studio	67	Hi Percussion	4	Ballad Bass
C75	Latin13	100	26	Funk Trap 2	-----	-----	3	Funk Bass
C76	MiddleEast01	120	25	Funk Trap 1	65	Drum Skins	6	Modern Bass
C77	MiddleEast02	112	2	Standard	66	Lo Percussion	4	Ballad Bass
C78	MiddleEast03	106	23	Standard 4	67	Hi Percussion	4	Ballad Bass
C79	Celtic01	122	2	Standard	66	Lo Percussion	5	Acoustic Bass
C80	Celtic02	136	26	Funk Trap 2	39	Ballad 5	4	Ballad Bass
C81	Polyrhythm01	100	66	Lo Percussion	67	Hi Percussion	22	Hi Sine
C82	Polyrhythm02	100	66	Lo Percussion	67	Hi Percussion	19	Harmonics Bass
C83	Riff01	132	0	Live Rock	-----	-----	-----	-----
C84	Riff02	114	0	Live Rock	-----	-----	-----	-----
C85	Riff03	114	1	Studio	-----	-----	-----	-----
C86	Riff04	114	1	Studio	-----	-----	-----	-----
C87	Arpeggio01	110	-----	-----	-----	-----	12	Bass Harmonics
C88	Arpeggio02	110	70	Agogo Gamelan	-----	-----	-----	-----
C89	PercussionPart01	110	-----	-----	65	Drum Skins	-----	-----
C90	PercussionPart02	110	66	Lo Percussion	-----	-----	-----	-----
C91	PercussionPart03	110	-----	-----	67	Hi Percussion	-----	-----
C92	BD&SDPart	110	34	Epic Rock 5	-----	-----	-----	-----
C93	HiHatPart	110	-----	-----	20	Standard 1	-----	-----
C94	Click&CymbalPar	110	-----	-----	8	Techno Beat	-----	-----
C95	TambarinePart	110	67	Hi Percussion	-----	-----	-----	-----
C96	HeavyDrumPatter	110	1	Studio	-----	-----	-----	-----
C97	SpeedDrumPatter	110	6	Modern	-----	-----	-----	-----
C98	SlapBassPattern	120	-----	-----	-----	-----	3	Funk Bass
C99	FingerBassPatte	110	-----	-----	-----	-----	4	Ballad Bass

ZOOM RhythmTrak RT-123 ノートナンバー対応表

	Note No	DRUM A,B KIT 00 ~ 64	DRUM A,B KIT 65 ~ PERCUSS & SE	BASS Programs	
				00 ~ 24 Note 0から	
C2	24			BASS発音域	
	25				
	26				
	27	High Q	←		
	28	Slap	←		
	29	ScratchPush	←		
	30	ScratchPull	←		
	31	Sticks	←		
	32	SquareClick	←		
	33	MetronomeClick	←		
	34	MetronomeBell	←		
	C3	35	Kick Drum 2		
		36	Kick Drum 1		PAD 1
		37	SideStick		PAD 2
38		SnareDrum 1	PAD 3		
39		Hand Clap	PAD 4		
40		SnareDrum 2	PAD 5		
41		Low Tom 2	PAD 6		
42		ClosedHi-Hat	PAD 7		
43		Low Tom 1	PAD 8		
44		PedalHi-Hat	PAD 9		
45		Mid Tom 2	PAD 10		
46		OpenHi-Hat	PAD 11		
47		Mid Tom 1	PAD 12		
48		High Tom 2	PAD 13		
C4	49	CrashCymbal 1			
	50	High Tom 1			
	51	RideCymbal 1			
	52	ChineseCymbal			
	53	RideBell			
	54	Tambourine			
	55	SplashCymbal			
	56	Cowbell			
	57	CrashCymbal 2			
	58	Vibraslap	←		
	59	RideCymbal 2	←		
	C5	60	High Bongo	←	
		61	Low Bongo	←	
		62	Mute High Conga	←	
63		Open High Conga	←		
64		Low Conga	←		
65		High Timbale	←		
66		Low Timbale	←		
67		High Agogo	←		
68		Low Agogo	←		
69		Cabasa	←		
70		Maracas	←		
C6		71	ShortWhistle	←	
		72	LongWhistle	←	
		73	ShortGuiro	←	
	74	LongGuiro	←		
	75	Claves	←		
	76	High Wood Block	←		
	77	Low Wood Block	←		
	78	MuteCuica	←		
	79	OpenCuica	←		
	80	MuteTriangle	←		
	81	OpenTriangle	←		
	82	Shaker	←		
	C7	83	JingleBell	←	
		84	Belltree	←	
85		Castanets	←		
86		Mute Surdo	←		
87		Open Surdo	←		
88					

ベースプログラムはプログラムによって発音上限Note # が変わります。

**DRUM A,B KIT 65 -**

**PERCUSS & SE**

KIT No		KIT 65	KIT 66	KIT 67	KIT 68	KIT 69	KIT 70
KIT NAME		Drum Skins	Lo Percussion	Hi Percussion	Clicks and Sticks	Single Percussion	Agogo Gamelan
note	PAD						
36	PAD 1	Hi Conga 1	Lo Timbale	Agogo	LiveStick	Belltree	Agogo Gamelan C
37	PAD 2	Hi Conga 2	Lo Conga 1	LooseShaker 1	StudioSticks	Hi Belltree	Agogo Gamelan C#
38	PAD 3	Lo Conga 1	Lo Conga 2	Cowbell	X-Sticks	Jinglebells	Agogo Gamelan D
39	PAD 4	Lo Conga 2	Hi Conga 1	LooseShaker 2	GuiroTick	Hi Jinglebells	Agogo Gamelan D#
40	PAD 5	Mute Conga 1	VeryLo Conga 1	Clave	Clave 1	Whistle	Agogo Gamelan E
41	PAD 6	Mute Conga 2	Muted Conga	TightShaker	Clave 2	Hi Whistle	Agogo Gamelan F
42	PAD 7	Lo Conga 3	VeryLo Conga 2	GuiroScrape 1	Castenet 1	Vibraslap	Agogo Gamelan F#
43	PAD 8	Lo Timbale	Bass	Tamborine 1	909WoodTick 1	Muted Triangle 1	Agogo Gamelan G
44	PAD 9	Hi Bongo	Mid Conga	GuiroScrape 2	Castenet 2	Hi Vibraslap	Agogo Gamelan G#
45	PAD 10	Hi Timbale	Lo Conga 3	Tamborine 2	909WoodTick 2	Lo Muted Triangle	Agogo Gamelan A
46	PAD 11	Lo Bongo	Lo Conga 4	GuiroTick	Castenet 3	VeryHi Vibraslap	Agogo Gamelan A#
47	PAD 12	Stick	Lo Stick	Tamborine 3	909WoodTick 3	Muted Triangle 2	Agogo Gamelan B
48	PAD 13	HandTom	HandTom	Vibraslap	StudioSticks	Lo Open Triangle	Agogo Gamelan C 2

KIT No		KIT 71	KIT 72	KIT 73	KIT 74	KIT 75	KIT 76
KIT NAME		Percussion/SFX	Various Percussion 1	Various Percussion 2	Various Percussion 3	Various Percussion 4	Various Percussion 5
note	PAD						
36	PAD 1	Mute High Conga	<----	<----	<----	<----	<----
37	PAD 2	Open High Conga	<----	<----	<----	<----	<----
38	PAD 3	Low Conga	<----	<----	<----	<----	<----
39	PAD 4	Hand Clap	<----	<----	<----	<----	<----
40	PAD 5	Pedal Hi-Hat	<----	<----	<----	<----	<----
41	PAD 6	Chinese Cymbal	<----	<----	<----	<----	<----
42	PAD 7	Crash Cymbal 2	<----	<----	<----	<----	<----
43	PAD 8	High Q	Metronome Click	High Bongo	Cabasa	High Woodblock	Shaker
44	PAD 9	Slap	Metronome Bell	Lo Bongo	Maracas	Lo Woodblock	Jingle Bell
45	PAD 10	Scratch Push	Splash Cymbal	High Timbale	Short Hi Whistle	Mute Cuica	Belltree
46	PAD 11	Scratch Pull	Vibraslap	Lo Timbale	Long Low Whistle	Open Cuica	Castanets
47	PAD 12	Sticks	Ride Cymbal 2	High Agogo	Short Guiro	Mute Triangle	Mute Surdo
48	PAD 13	Square Click	Claves	Lo Agogo	Long Guiro	Open Triangle	Open Surdo

KIT No		KIT 77	KIT 78	KIT 79
KIT NAME		Cymbal Set	Kick and Snare 1	Kick and Snare 2
note	PAD			
36	PAD 1	Live Splash	Live Kick 1	Epic Kick 1
37	PAD 2	Funk Splash	Live Snare 1	Epic Snare 1
38	PAD 3	Dance Splash	Live Kick 2	Epic Kick 2
39	PAD 4	Techno Splash	Live Snare 2	Epic Snare 2
40	PAD 5	Funk China	Studio Kick 1	Ballad Kick
41	PAD 6	Dance China	Studio Snare 1	Modern Snare
42	PAD 7	Funk and Live Crash	Studio Kick 2	Modern Kick 1
43	PAD 8	Epic and Studio Crash	Studio Snare 2	General Snare 1
44	PAD 9	Techno 808 Crash	Standard Kick 1	Modern Kick 2
45	PAD 10	Ride Cymbal 2	Funk Snare 1	General Snare 2
46	PAD 11	Epic Tamborine	Standard Kick 2	General Kick
47	PAD 12	Studio Tamborine	Funk Snare 2	Kick Verb
48	PAD 13	Cabasa	Funk Kick	Snare Verb

ドラムキット ( 0 ~ 64 ) EXTRA リスト

KIT No	KIT NAME	EXTRA1	EXTRA2	EXTRA CYMBAL	EXTRA3
0	LiveRock	Side Stick	Cowbell	Ride Bell	Hand Clap
1	Studio Rock	Side Stick	Cowbell	Ride Bell	Hand Clap
2	Standard Kit	Side Stick	Cowbell	Ride Bell	Hand Clap
3	Funk Rock	Side Stick	Cowbell	Ride Bell	Hand Clap
4	Epic Rock	Side Stick	Cowbell	Ride Bell	Hand Clap
5	Ballad Rock	Side Stick	Cowbell	Ride Bell	Hand Clap
6	Dance Rock	Side Stick	Cowbell	Ride Bell	Hand Clap
7	RapHipHop	Side Stick	Cowbell	Ride Bell	Hand Clap
8	Techno Beat	Side Stick	Cowbell	Ride Bell	Hand Clap
9	General Drum	Side Stick	Cowbell	Ride Bell	Hand Clap
10	LiveRock1	Hand Clap	Cowbell	Ride Bell	Tambourine
11	LiveRock2	Side Stick	Cowbell	Crash Cymbal2	Tambourine
12	LiveRock3	Cowbell	Chinese Cymbal	Ride Bell	Splash Cymbal
13	LiveRock4	Side Stick	Hand Clap	Splash Cymbal	Tambourine
14	LiveRock5	Hand Clap	Tambourine	Crash Cymbal2	Splash Cymbal
15	Studio Rock1	Hand Clap	Cowbell	Ride Bell	Tambourine
16	Studio Rock2	Side Stick	Cowbell	Crash Cymbal2	Tambourine
17	Studio Rock3	Cowbell	Chinese Cymbal	Ride Bell	Splash Cymbal
18	Studio Rock4	Side Stick	Hand Clap	Splash Cymbal	Tambourine
19	Studio Rock5	Hand Clap	Tambourine	Crash Cymbal2	Splash Cymbal
20	Standard Kit1	Hand Clap	Cowbell	Ride Bell	Tambourine
21	Standard Kit2	Side Stick	Cowbell	Crash Cymbal2	Tambourine
22	Standard Kit3	Cowbell	Chinese Cymbal	Ride Bell	Splash Cymbal
23	Standard Kit4	Side Stick	Hand Clap	Splash Cymbal	Tambourine
24	Standard Kit5	Hand Clap	Tambourine	Crash Cymbal2	Splash Cymbal
25	Funk Rock1	Hand Clap	Cowbell	Ride Bell	Tambourine
26	Funk Rock2	Side Stick	Cowbell	Crash Cymbal2	Tambourine
27	Funk Rock3	Cowbell	Chinese Cymbal	Ride Bell	Splash Cymbal
28	Funk Rock4	Side Stick	Hand Clap	Splash Cymbal	Tambourine
29	Funk Rock5	Hand Clap	Tambourine	Crash Cymbal2	Splash Cymbal
30	Epic Rock1	Hand Clap	Cowbell	Ride Bell	Tambourine
31	Epic Rock2	Side Stick	Cowbell	Crash Cymbal2	Tambourine
32	Epic Rock3	Cowbell	Chinese Cymbal	Ride Bell	Splash Cymbal
33	Epic Rock4	Side Stick	Hand Clap	Splash Cymbal	Tambourine
34	Epic Rock5	Hand Clap	Tambourine	Crash Cymbal2	Splash Cymbal
35	Ballad Rock1	Hand Clap	Cowbell	Ride Bell	Tambourine
36	Ballad Rock2	Side Stick	Cowbell	Crash Cymbal2	Tambourine
37	Ballad Rock3	Cowbell	Chinese Cymbal	Ride Bell	Splash Cymbal
38	Ballad Rock4	Side Stick	Hand Clap	Splash Cymbal	Tambourine
39	Ballad Rock5	Hand Clap	Tambourine	Crash Cymbal2	Splash Cymbal
40	Dance Rock1	Hand Clap	Cowbell	Ride Bell	Tambourine
41	Dance Rock2	Side Stick	Cowbell	Crash Cymbal2	Tambourine
42	Dance Rock3	Cowbell	Chinese Cymbal	Ride Bell	Splash Cymbal
43	Dance Rock4	Side Stick	Hand Clap	Splash Cymbal	Tambourine
44	Dance Rock5	Hand Clap	Tambourine	Crash Cymbal2	Splash Cymbal
45	RapHipHop1	Hand Clap	Cowbell	Ride Bell	Tambourine
46	RapHipHop2	Side Stick	Cowbell	Crash Cymbal2	Tambourine
47	RapHipHop3	Cowbell	Chinese Cymbal	Ride Bell	Splash Cymbal
48	RapHipHop4	Side Stick	Hand Clap	Splash Cymbal	Tambourine
49	RapHipHop5	Hand Clap	Tambourine	Crash Cymbal2	Splash Cymbal
50	Techno Beat1	Hand Clap	Cowbell	Ride Bell	Tambourine
51	Techno Beat2	Side Stick	Cowbell	Crash Cymbal2	Tambourine
52	Techno Beat3	Cowbell	Chinese Cymbal	Ride Bell	Splash Cymbal
53	Techno Beat4	Side Stick	Hand Clap	Splash Cymbal	Tambourine
54	Techno Beat5	Hand Clap	Tambourine	Crash Cymbal2	Splash Cymbal
55	General Drum 1	Hand Clap	Cowbell	Ride Bell	Tambourine
56	General Drum 2	Side Stick	Cowbell	Crash Cymbal2	Tambourine
57	General Drum 3	Cowbell	Chinese Cymbal	Ride Bell	Splash Cymbal
58	General Drum 4	Side Stick	Hand Clap	Splash Cymbal	Tambourine
59	General Drum 5	Hand Clap	Tambourine	Crash Cymbal2	Splash Cymbal
60	General Drum 6	Hand Clap	Cowbell	Ride Bell	Tambourine
61	General Drum 7	Side Stick	Cowbell	Crash Cymbal2	Tambourine
62	General Drum 8	Cowbell	Chinese Cymbal	Ride Bell	Splash Cymbal
63	General Drum 9	Side Stick	Hand Clap	Splash Cymbal	Tambourine
64	Effected Drum	Side Stick	Cowbell	Ride Bell	Tambourine

# ZOOM RhythmTrak RT-123 MIDI インプリメンテーション

## 1. TRANSMITTED DATA

NONE.

## 2. RECOGNIZED DATA

### 1) CHANNEL VOICE MESSAGES

STATUS	SECOND	THIRD	DESCRIPTION
1000 nnnn	0kkk kkkk	0vvv vvvv	NOTE OFF (See NOTE 1) kkk kkkk : Note No. vvv vvvv : Note Off Velocity (ignored)
1001 nnnn	0kkk kkkk	0000 0000	NOTE OFF (See NOTE 1) kkk kkkk : Note No.
1001 nnnn	0kkk kkkk	0vvv vvvv	NOTE ON (See NOTE 1) kkk kkkk : Note No. vvv vvvv : Note On Velocity (not 0)
1011 nnnn	0ccc cccc	0vvv vvvv	CONTROL CHANGE ccc cccc : Control No. 7 Volume 10 Panpot (See NOTE 3) vvv vvvv : Control Value
1100 nnnn	0ppp pppp	— —	PROGRAM CHANGE ppp pppp : Program Number (See NOTE 2)
1110 nnnn	0vvv vvvv	0vvv vvvv	PITCH BENDER CHANGE (See NOTE 3) vvv vvvv vvv vvvv Pitch Bend Value

NOTE: nnnn = MIDI Channel Number ( 0000 - 1111 )

1. Note Off Messages on Drum Channel(s) will be ignored.
2. Relationship between Program Numbers and Kit Numbers are assigned as described in Drum Kits/Bass Program List.
3. Pitch Bend values will be used only MS7bits.  
Pitch Bending will be effected continuously only on Bass Channel.  
Panpot Controller will also be effected only on Bass Channel.

2) CHANNEL MODE MESSAGE

STATUS	SECOND	THIRD	DESCRIPTION
1011 nnnn	0111 1000	0000 0000	ALL SOUNDS OFF
1011 nnnn	0111 1001	0000 0000	RESET ALL CONTROLLERS
1011 nnnn	0111 1011	0000 0000	ALL NOTES OFF
1011 nnnn	0111 1100	0000 0000	ALL NOTES OFF

NOTE: nnnn = MIDI Channel Number ( 0000 - 1111 )

3) SYSTEM COMMON MESSAGE, SYSTEM REAL TIME MESSAGE

STATUS	SECOND	THIRD	DESCRIPTION
1111 0011	0sss ssss	— —	SONG SELECT sss ssss : Song No. 0-98
1111 1000	— —	— —	TIMING CLOCK
1111 1010	— —	— —	START
1111 1011	— —	— —	CONTINUE
1111 1100	— —	— —	STOP

NOTE:

Model RhythmTrak RT-123 MIDI インプリメンテーションチャート

Function ...	Transmitted	Recognized	Remarks
Basic Default Channel Changed		1-16 1-16	Memorized for every tracks
Mode Default Messages Altered	*****	3	
Note Number   True voice	*****	0-127	
Velocity Note ON Note OFF		o x	
After Key's Touch Ch's		x x	
Pitch Bend		o	MS7bits
Control Change		7 10  120 121	Volume Panpot (*1)  All Sounds Off Reset All Ctrl's
Prog Change   True #	*****	o 0-127	
System Exclusive		x	
System   Song Pos   Song Sel Common   Tune		x o x	
System   Clock Real Time   Commands		o o	
Aux   Local ON/OFF   All Notes OFF Mes-   Active Sense sages   Reset		x o x x	
Notes	No transmitted messages. *1: Bass only		

Mode 1 : OMNI ON, POLY  
Mode 3 : OMNI OFF, POLY

Mode 2 : OMNI ON, MONO  
Mode 3 : OMNI OFF, MONO

o : Yes  
x : No

**ZECOM®**  
CATCH US IF YOU CAN

株式会社ズーム

〒183-0022 東京都府中市宮西町2-10-2 ノアビル1階 TEL: 042-369-7111 FAX: 042-369-7115

Printed in Japan 123-5010